



PART.13

機動戦士ガンダムキャラクター大図鑑Ⅱ巻

illustration by Hiroyuki Kitazume

ROUTE ACTERS



刻の涙を見る

宇宙世紀0087……

地球圏を舞台に再び、

戦乱の嵐が吹き起ころ。

スペースノイド

地球から宇宙の民を支配しようとする急先鋒のティターンズは、反体制側のスペースノイドの粛正を始める。反地球連邦組織エウーゴはそれに対抗しスペースノイドの自由を求める。

新たな可能性を秘めたニュータイプ、カミーユ・ビダン。7年の時を経て戦いの場に戻る、アムロ・シャア、ハヤト。力による弱者の弾圧の上に覇業を成そうとする、ジャミトフ、バスク。理想を實現しようとする人ブレックス。戦いの場を恐れず

SORT CHIAI



出撃する女性達 エマ、レコア、ライラ、ベルトリーチカ。なにもわからなまま象徴として戦場に駆り出される、ミネバ。カミーユを守る、フア、シntax、クム。エウーゴの重鎮、ヘンケン。カミーユを執拗につけ狙う、ジェリド。ジェリドのパートナーとして戦う、マウアー。戦いをもてあそぶかのように楽しむ、シロッコ。シロッコに健気に付き従う、サラ。サラの哀しさに惹かれる、カツ。戦いの道具として生み出された哀しき強化人間、フォウ、ロザミア。新たに出会った人々の葛藤は広がり、人の革新は進んでいく。終わることのない悲劇とともに。



刻を越えて

宇宙世紀0088……

0087年より始まった戦乱は、新たなジオンの到来とともにさらなる拡大を見せる。戦いは、その参加する人間を選ばなかった。主義にとらわれて行動がぎこちなくなる大人達に対し、少年たちは素直に時代というものに立ち向かっていった。今までにない激刺としたニュータイプの見せる、ジュード・アシータ。ジュードの最愛の妹、リイナ。男に負けない強さを持つ、エル、ルー・ルカ。昔からのジュードの仲間達、ビーチヤ、モンド、イーノ。補給艦ラビアン・ローズの艦長、献

SORT OUT CHARACTERS



身的な女性、エマリー。
ハマーンに忠誠を誓うネ
オ・ジオンの戦士、マシユ
マー。風変わりな女戦士、
キヤラ。強化人間の監視
役、イリア。ギレン・ザ
ビの亡霊に取りつかれた
男、グレミー。クローン
の強化人間、戦いの悲哀
を代表しているかのよう
な少女戦士、プルとプル
ッ。スペースノイドの
解放をザビ家復興という
間違った形でとらえてし
まった女性、ハマーン・
カーン。

戦いははてなく続き、
戦火により土地は荒れ、
人の心は醜く、歪んでい
く。そんな嵐の中で、少
年の心は常になっすぐ、
人の心を想い、そして未
来へと向いていた。



刻のかわる前に

宇宙世紀0093……

シャア・アズナブルは、

ジオンの名のもとに軍を

再編成し、地球そのものを

を救うために地球に住む

人類を粛正しようとする。

ジオンの軍体制をまとめる

には、陰から支える秘

書官、ナナイ・ミゲルの

力が大きかった。強化人

間、ギユネイ・ガスを始

め、ネオ・ジオンは連邦

を軽く凌駕する戦力を有

していた。そんなシャア

の非道な振舞いを止める

ためにアムロ・レイは、

自ら設計したレガンダム

を駆り、決戦に望む。ア

ムロを敬愛するチエーン・

アギは、戦いに望むアム

ロのためにガンダムの整

SORT OUT CHARACTERS



備に誠意をつくす。アムロの旧友、ブライト・ノアは妻子、ミライとチエーミンを地球に残し、ロンド・ベル隊を率いてネオ・ジオンとの決戦に備える。ロンド・ベル隊のバイロット、ケーラ・スウは、メカマン、アストナージとの愛を育てながら、MSでアムロをフォローする。父に嫌悪感を持つ少女、クエス・パラヤは、シャアの中に理想の形を見出し、シャアに協力する。母の勤めで、宇宙に向かったブライトの息子、ハサウェイはシャトルで出会った少女クエスに心惹かれ、クエスの行動を止めようとする。

戦いの中、人々の想いが交錯する。



一千万の星達

8

終わることのない戦いの中、人々は出会い、そして別れてゆく。それが、どんな形であれ避けることのできない宿命である。

ネオ・ジオンの思惑に踊らされた連邦の政務官クエスの父親、アデナウアー・パラヤ。ジャーナリストという立場から昔の仲間を支援した、カイ・シデン。ネオ・ジオンのエースパイロットのひとり、レズン・シュナイダー。テイターズズのニュータイプ戦士、ゲーツ・キヤパ。エウーゴへの出資者、ウォン・リーとメラニー・ヒュー・カーバイン。ハヤト夫妻の養子となった、キッカとレッツ。

SORT OUT CHARACTERS



原画／堀井久美
仕上げ／スタジオK

ネエル・アーガマとメガ・ライダーを納品したアナハイム社の、ミリー・チルダー。アーガマのオペレーター、トールレスト、パイロットの、アボリーとロベルト。キャラを両翼で支えたニール、ランス・ギレン。ティターンズのアウトロー戦士、ヤザン・ゲイブル。サイド1のジャンク屋、ゲモン・バジヤック。ロスト・コロニー、ムーン・ムーンに住む光族の長、双子の姉妹の、サラサとラサラ。たとえ誰であれ、人の命の輝きは変わらない。ひとつひとつが銀河を彩る幾千万の星々のように光を放っている。心をよぎった軌跡は消えることがない、いつまでも。

カミーユ・ビダン



シャア・アズナブル (クワトロ・バジーナ)



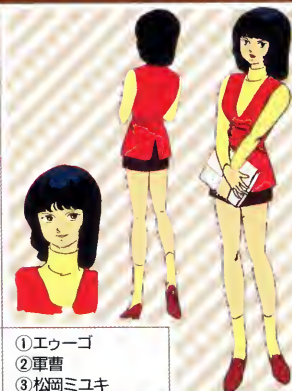
キャラクター大鑑

レコア・ロンド



- ① エウーゴ
- ② 少尉
- ③ 勝生真沙子

ファ・ユイリィ



- ① エウーゴ
- ② 軍曹
- ③ 松岡ミユキ

アストナージ・メドゥン



- ① エウーゴ
- ② チーフ・メカマン
- ③ 広森信吾

エマ・シーン



- ① エウーゴ
- ② 中尉
- ③ 岡本麻弥

ハヤト・コバヤシ



- ①カラバ
- ②アウドムラ機長
- ③鈴木清信

アムロ・レイ



- ①地球連邦軍
- ②大尉
- ③古谷 徹

ミライ・ノア



- ①民間人
- ②——
- ③白石冬美

ブライト・ノア



- ①エウーゴ
- ②大佐
- ③鈴置洋孝

フラウ・コバヤシ



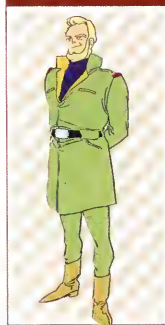
- ① 民間人
- ② _____
- ③ 鵜飼るみ子

カツ・コバヤシ



- ① エウーゴ
- ② _____
- ③ 難波圭一

フレックス・フォーラ



- ① エウーゴ
- ② 准将
- ③ 藤堂貴也

レツ・コバヤシ



- ① 民間人
- ② _____
- ③ 頓宮恭子

キッカ・コバヤシ



- ① 民間人
- ② _____
- ③ 莊真由美

アブ・ダビア メズーン・メックス メロニー・ヒューカー・バイン



- ① エウーゴ
② _____
③ _____



- ① 民間人
② _____
③ 小滝 進



- ① 民間人
② _____
③ _____

ジェリド・メサ



- ① ティターンズ
② 中尉
③ 井上和彦



ノーマルスーツ

バスク・オム



- ①ティターンズ
- ②大佐
- ③郷里大輔

ライラ・ミラ・ライラ



- ①地球連邦軍
- ②中尉
- ③佐藤君枝

ジャミトフ・ハイマン



- ①ティターンズ
- ②大將
- ③池田 勝

カクリコン・カクラー



- ①ティターンズ
- ②中尉
- ③戸谷公次



ジュー・アーシャ



- ① エウゴ
- ② _____
- ③ 矢尾一樹

バプテマス・シロッコ



- ① 地球連邦軍
- ② _____
- ③ 島田敏

リィナ・アーシャ



- ① 民間人
- ② _____
- ③ 岡本麻弥

ハムーン・カーン



- ① ネオ・ジオン
- ② 摂政
- ③ 榊原良子

機動戦士ガンダム

ビーチャオレーグ、地球連邦軍用ノーマルスーツ

マシュー・セロ



- ① ネオ・ジオン
- ② _____
- ③ 堀内賢雄

モンド・アガク



- ① エウゴ
- ② _____
- ③ 塩谷浩三

ビーチャ・オレーグ



- ① エウゴ
- ② _____
- ③ 広森信吾

ノーマルスーツ

地球連邦軍用



イーノ・アッパーブ



- ① エウゴ
- ② _____
- ③ 菊池正美

エル・ビアンノ



- ① エウゴ
- ② _____
- ③ 原えりこ

シャア・アズナブル



- ①ネオ・ジオン軍
- ②総帥
- ③池田秀一

チェーン・アギ



- ①地球連邦軍
- ②メカニック
- ③弥生みつき

アムロ・レイ

ノーマルスーツ



- ①地球連邦軍
- ②大尉
- ③古谷 徹



ブライト・ノア

ケーラ・スウ



- ① 地球連邦軍
- ② 少佐
- ③ 鈴置洋孝

- ① 地球連邦軍
- ② ———
- ③ 安達 忍

ハサウェイ・ノア



- ① 民間人
- ② _____
- ③ 佐々木望

クエス・パラヤ



- ① ネオ・ジオン軍
- ② _____
- ③ 川村万梨阿

ギユネイ・ガス



①ネオ・ジオン軍

②——

③山寺宏一

レズン・シュナイダー



①ネオ・ジオン軍

②——

③伊倉一恵

ナナイ・ミゲル



ノーマルスーツ



- ① ネオ・ジオン軍
- ② _____
- ③ 榊原良子

ラー・カイラムブリッジ要員



- ① 地球連邦軍
- ② _____
- ③ 竹村 拓・柴本広之

ライル艦長



- ① ネオ・ジオン軍
- ② _____
- ③ 曽我部知恭

地球連邦軍制服



一般兵

オペレーター

士官級兵士

パイロット用ノーマルスーツ

ネオ・ジオン軍制服



一般兵

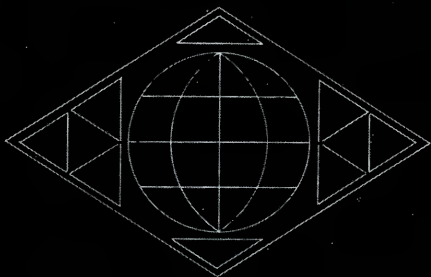
オペレーター

メカニック

パイロット用ノーマルスーツ

GUNDAM Official Report

ガンダムオフィシャルレポート



●ガンダムの世界における人の革新、ニュータイプと、勢力関係の新たな動き、エウゴ、ティターンズ、ネオジオンについて、詳しく解説する。

ニュータイプ

NEW TYPE

U.C.0050~0100

ニュータイプ

一年戦争が終局に近づいたころ、公国、連邦を問わず、「ニュータイプ」という言葉が、主に軍周辺を中心に流布されるようになった。これは、かつて、ジオン・ズム・ダイクンが提唱したコントリズムの中から生まれた概念で、宇宙時代に対応して、人類が獲得する進化の現われかたとして考えられたものだった。宇宙という広大な空間を生活の場として手に入れた人類は、認識力が拡大し、肉体的にも精神的にもあらゆる事象を理解することができるようになる。それは、個人対個人でも現われ、最終的には、全人類が、か

つてなしえなかった相互理解を可能にすることができるようになるだろう、というのもあった。本来的には、人類の未来における、ありうべき理想の姿として語られていたものだったが、両軍で盛んに宣伝されるようになったのは、長期におよぶ戦争のために、一般市民や軍人の間に生まれた厭戦気分を払拭するためだっ

た。あたりのよい言葉で、戦意を昂揚させるため使われたといえる。この言葉は、例えば、めざましい軍功のあった将兵を軍部がマスコミで紹介するときの形容詞として、あるいは、学徒動員の際の方便として用いられていたのだ。

実際、ニュータイプと呼ばれたパイロットたちの中には、通常では考えられないような



一年戦争時のニュータイプたち。

NEW TYPE

ニュータイプ



一年戦争時のNT用MS、MA。

能力を発揮したものたちがいた。一般に対しても公表されはしたが、軍部では、ニュータイプを実効のあるパイロットとして考え、彼らに対応した兵器を開発していた。すなわち、NT（ニュータイプ）対応兵器が存在したのである。MSにおけるマン・マシーン・インターフェイスは、基本的に『操縦』によるもので、

操作と稼働のあいだには若干のタイムラグが生じる。しかし、サイコミュ技術が転用されたNT専用MS（MA）においては、操縦系統にサイコミュをコンポーネントした場合、操縦者の思维と同時に機体が稼働するという特色が生まれる。これは、人類がそれまでに開発した、いかなる機器、兵器にも、ありえなかつ

た機能である。居会いの達人の太刀さばきにたとえることができるかも知れないが、肉体の鍛練は伴わないように思われるし、精神性もさして重要なファクターとは考えられていない。ただし、NT能力が発達したパイロットは、当時の最高レベルの追従性を持つ機体に乗っている場合でも、自分の操縦に機体がついてこ

ないと痛感した瞬間があったという。MS同士の間での対決において、機体の稼働に要する、このわずかな時間差は、戦闘の結果に深刻な格差を生む。

さらに、サイコミュとリンクしたパイロットは、遠隔にありながら、端末（ビット、有線ビットなどの無人攻

撃機）の得た情報を、自分のものとして把握することができた。その上、複数の端末を同時に操作することさえ可能だった。一年戦争末期に公国軍によって作られたNT専用機のパラウ・ブロ、エルメス、ジオングは、脅威的な戦闘能力を有し、多数の戦艦、MSを沈め、連邦軍に脅威をもたらした。さらに、同時に多数の端末から攻撃を加えるオーレンジ攻撃は、無敵と思われた。それぞれのNT専用機に搭乗したシャリア・ブル、ララァ・スン、シャア・アズナブルは、NTとしての能力が突出していたと考えられるが、公国軍の三人と、NT専用の装備を持たないガンダムで闘い勝利した連邦軍のアムロ・レイは、三人のNT能力をも上回っていたとされている。

NEW TYPE

フラナガン機関

公国軍は、ジオンの名を冠していることからあきらかに彼らの理想を實踐することを優先事項のひとつとしていた。そのため、NT概念を立証する機関も持っていた。フラナガン博士を責任者とするこの組織では、戦争孤児などを中心に、NT能力を持つと思われる人材の発掘と、それに対応した兵器の開発を行



フラナガン博士

なっていた。本来、軍事用に発足した研究機関ではなかったが、研究結果の実用性を立証する手段として、応用が可能で効果が顕著だったのが軍事的な転用だったのだ。

一年戦争以降、MSが兵器として成立しえたのは、ミノフスキー粒子の応用、散布技術の発達で、無線誘導や、



サイコミュの適性検査を受ける被験者。

電装機器による索敵などが困難になったことが最大の理由である。旧世紀末に確立された電子戦は過去の遺物となり、接近戦闘で大きな打撃を与えることが、戦闘においては重要になっていった。戦闘空域での電波通信も、かなりの障害を伴うようになった。そのため、宇宙艦艇の誘導弾や艦砲射撃を主力としていた連邦軍は、緒戦で公国軍に敗れたのだ。しかし、これらの事情は公国軍でも同様で、ミノフスキー粒子の干渉を受けない通信技術の確立は急を要することになった。はやい時期にレーザーなどによる代替通信は可能になったが、通信対象の追尾や出力の問題から、機

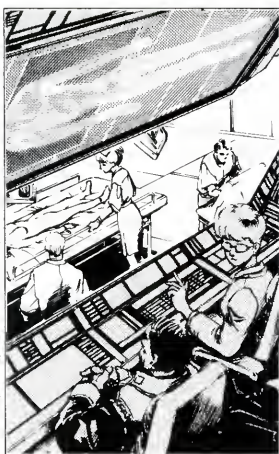
ニュータイプ

器の小型化が困難で、兵器そのものに搭載することは不可能に近かった。また、レーザなどの光学通信は、遮蔽物が直線上にあると光線が遮断されてしまったため、誘導用の通信方法としては不適当でもある。そこで考えられたのが、思考波による通信である。すなわちサイコ・コミュニケーション

ション。いわゆるサイココミュニケーションの概念が、この時点で確立された。無論、この概念が、フナガン機関から提示されたものであることはいうまでもない。

ミノフスキー粒子は、濃度の高い空域では、電装機器の回路そのものにさえ支障を来す。しかし、研究が進むにつれ、ミノフスキー粒子が散

布された空間では、電子通信に起こる変調が、一定の規則性をもっていることが明らかになった。この変調そのものを解析することで、ミノフスキー粒子を媒体にする（と考えられる）通信が可能となった。技術的には、被験者の感応波を増幅し、コンピュータ



ニュータイプ能力を人工的に強化する実験もあった。

言語に翻訳することで通信は成立するが、通信のソースとなる信号が「思考波」である必要があった。そのため、通常通信のように、会話を成立させる技術としての転用は困難だったが、「意思」および「知覚」を伝播する装置としての開発は順調に進んだ。（厳密に言えば、思考波が空間を

伝播するのか、装置間の共鳴作用なのかは解明されていない）例えば、照準の調整、ビーム砲のトリガー操作など、フィードバックを含む相互通信が可能だった。つまり、端末が捕えた情報を、パイロットが、自分の知覚として捕えることができるのだ。しかし、画期的な効果をもたらすサイコミュも、それを操作するパイロットには高いNT能力が求められる。ところが、このシステムを実用レベルで扱えるほどのNT能力を持つ被験者は極端に少なく、また、この技術を一般的な兵器に転用することもほぼ不可能だった。コストや運用面での障害もさることながら、基本的にパイロットの数が極端に少なかったためである。

NEW TYPE

強化人間

Fortification Human

U.C.0080～0100

人 体 改 造

一年戦争が終結して後、ジオン公国は共和国制に移行し、かつての軍事施設はほとんどが連邦軍に接収された。その軍事資料のなかから、NTに関するデータが発見された。連邦軍は、MSの技術だけでなく、NTに関する事柄でも、公国軍に、十年以上、水を開けられていたことを痛感した。一年戦争当時、連邦軍に達成可能なNT対応技術は、MSの反応速度を上げる程度のことだけだったが、公国軍は、NTの特性の一側面を解析しており、彼らを軍事的に利用するレベルまで到達していたのだ。連邦軍は、旧公国のNT研究施設の要員を厚遇し、研究の続行を命じた。

NTの研究は、思わぬ障害

で頓挫した。研究対象となるNTの絶対数が不足していたためだ。両陣営のNTと噂されるようなベテランパイロットの多くは死傷したが、あるいは行方不明で、軍籍の追跡調査も不可能なほど、戦争で失われた資料が多かったのである。戦後のNT研究は、まず人材を発掘することから始めなければならなかった。連

邦軍は、戦災孤児の収容施設を中心に、適性を持った子供たちを審査にかけた。戦争体験は、幼い子供たちの心に癒しがたい傷を負わせていた。そのトラウマやストレスを要因として、NT的な感性を持つに至った人材を見つけだし、身体生理機能や深層心理に干渉することで、人工的にNTを生みだそうとしたのである



人工的NT、強化人間はいわばモルモットだった。

Fortification Human

強化人間



圧倒的な能力を発揮するサイコガンダム。NT専用モビルアーマーである。

こうして、薬物投与や脅迫観念、またはサブリミナル効果などによって、ストレスや反射機能を先鋭化させ、サイコミュを繰る「機能」を持ったパイロットとして養成された人工的なNTは「強化人間」と呼ばれ、NT専用MSというハードを稼動させるソフトとして「開発」されていた。北米のオーガスタやアフリカのキリマンジャロのニタ研日本のムラサメ研究所などで一年戦争で絶大な威力をもった兵器であるMSを、さらに強力にするためのパイロットが作られていた。それはRX-178における成功で懸案となった新規格教育型コンピュータの開発と競合するほどの研究対象となった。

むしろ、人間的な判断が可能なコンピュータを開発するよりも、機械的な人間を育成するほうが効率が良いとする風潮すらあった。

しかし、過剰な強化を施された被験者たちは、精神的に障害を受けることが多かった。極端な躁鬱や情緒不安定など、パイロットとしての適性そのものに支障をきたすケースがたびたび起こったのだ。また、NTとして触発された感覚から、敵対勢力のパイロットと意思を交感させてしまうこともあった。サイコガンダムやバウンドドッグのパイロット、フォウ・ムラサメ、ロザミア・バダムなど、戦闘中にNT能力が解放され、エウゴのZガンダムのパイロット、カミーユ・ビダンと意思を通じてしまうということもあった。

Fortification Human

エウーゴ

Anti-Earth.United.Nation-Government

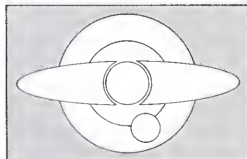
U.C.0085～0089

反地球連邦政府組織

ジオンと地球連邦の対立は、連邦政府が宇宙移民者をないがしろにする政策をとっていたことに端を発する。一年戦争後も連邦政府の姿勢は変わらず、反地球連邦運動は各コロニーで散発的に起こってはいたが、ジオンのような思想家も、ギレンのような指導者も

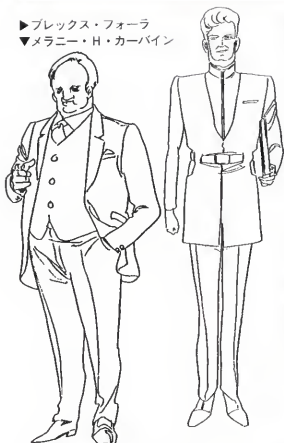
いなかったため、大きなうねりに発展することはなかった。ところが三十パンチ事件を契機として反地球連邦勢力は急速に形を整え、エウーゴが成立した。

U.C.0085年、サイドーの三十パンチにおいて開催された反地球連邦運動の集会で、デモ、サボタージュ、または小規模な暴動が発生し、駐留



エウーゴのシンボルマーク

▶ ブレックス・フォーラ
▼ メラニー・H・カーバイン



していた連邦軍は、テイターズに鎮圧を要請した。テイターズは一切の通告もせず、コロニーの外壁から毒ガスを送り込み、三十パンチの住民三百万人を虐殺した。この事件は、報道管制によって、公にされることはなかったが、それまで個々の活動をしていた、カラバなどを含む反地球連邦運動を団結させることになった。さらに、連邦政府の

Anti-Earth.United.Nation-Government



凶弾に倒れたブレックスから
エウーゴを託されたシャア。

内部からもエウーゴの運動に参加するものが始まった。その中には、ブレックス・フォーク准将など、連邦軍の実力者もあり、軍事的な側面からの反抗勢力も形作られることになる。これは、ジャミトフやバスクを首魁とするティターンズが、危険な存在となることに危機感を抱いた勢力の支援があったためと考えられ

る。連邦軍への兵器納入で最高の実績を誇るアナハイム・エレクトロニクスの要人ウォン・リーや、会長のメラニー・ヒュー・カーバインほか、月企業連合体やコロニー財界なども援助の体制を整え、連邦政府改革を画策していた。そして、UC0087年の、エウーゴによるガンダムMK-II強奪で、エウーゴとティ

ターンズの対立は決定的なものとなる。連邦政府、連邦軍ともにどちらの勢力にも加担することはなかったが、ティターンズは、連邦内部に作られた公的な組織であり、エウーゴは基本的に劣勢を強いられていた。さらに、連邦総会会場において、エウーゴの指導者ブレックスが暗殺され、ティターンズを連邦軍の正規軍とする議案が可決された。

この後、連邦軍全体がティターンズの指揮下に入ることになり、エウーゴはさらなる苦境に立たされる。

しかし、ダカールで行なわれた連邦議会において、ティターンズを告発するシャアの演説と、ティターンズの戦闘の有様が映像で中継されたことにより、連邦内部での力関係は逆転し、事態を傍観して

いた各コロニーや月面都市からの反発もあって、連邦軍における主導権はエウーゴが掌握することとなった。

ティターンズが崩壊してから後、連邦におけるエウーゴの存在意義は、徐々に希薄になっていった。エウーゴの理論的な指導者だったブレックスを失い、後を託されたシャアも行方が知れず、連邦周辺のエウーゴは、企業利益の代弁者となってしまった。もと、アナハイムなどのコングロマリットがエウーゴを支援したのも、連邦内部に生まれた派閥争いで不利益を被らないための保険のようなものだったのだ。そして、宇宙移民者の意向を反映し、地球を再生させるという当初の目的は忘れられ、組織としての実体を失ってしまった。

ティターンズ

Titans

U.C.0083~0088

公国軍残党殲滅組織

一年戦争が終結して三年後のU.C.0083年、おもにジオン公国の残党狩りを目的としたティターンズが成立した。創設者であるジャミトフ・ハイマンは、連邦軍の実力者で、連邦軍の権力を増強し、軍事国家的な統制政府を作りだそうと考えていた。連邦政府は、一年戦争からなんの教訓も得ておらず、地球再開発に名を借りた環境汚染と地球におけ

る既得権の拡大にのみ執着していた。ジャミトフは、地球上の全人類を殺戮してでも、地球の再生を計ろうという構想も持っており、それを極秘裡に、あるいは合法的に行なうために、権力の集中とティターンズの強化を推し進めていった。ただし、それは宇宙移民者の間で醸成されたエレ

ズムのようなものではなく、宇宙移民者に対する反感に端を発するものだった。ジャミトフにしてみれば、スペース



▶ ジャミトフ・ハイマン



ティターンズのシンボルマーク

ノイドは地球を食い散らす寄生虫であって、ニュータイプは現在の人類の存在を脅かすミュータントでしかなかったのである。無論、これは当時の連邦政府の傲慢さと墮落ぶりを目の当たりにすることによってもたらされた確信だということもできるだろう。

ティターンズ成立当時の連邦政府は、ジオンの残党に対する有効な手段を講じられず

Titans

ティターンズ



バブテマス・シロッコ

士官を鼓舞するバスク・オム



にいた。ジャミトフが支持を受けた理由として考えられるのは、連邦軍の新兵器強奪や、公然と反地球連邦を掲げる運動などが頻繁に起こったため、失墜していた連邦軍の権威を回復するものとして、期待をになう側面も持っていたからである。ことに、連邦の管理が行き届かないジオン共和国の懐柔は、政府官吏に対する説得力を持っていた。ティターンズであれば、宇宙移民者の統率も可能であろう、と。そしてティターンズは、サイド7のコロニーを軍事基地化する権限まで手に入れた。

ティターンズの総指揮官バスク・オムが決行した三十バトン事件を境に、ティターンズの連邦軍内における発言力は一気に強大になった。隠然とした脅迫が公然と行なわれるようになり、連邦軍における特権階級、エリートとして認知させようという風潮が生まれたのである。ティターンズは、ジオン残党を排除する精鋭部隊としての側面も持っていたため、実力の有る将校や意欲的な若い士官が集まり、実戦的な組織としての実力も充実していった。軍組織の中でも、普通の連邦軍人の階級より一階級上の扱いを公然と要求するまでになっていた。

エウーゴの動きが活発化してからは、ジオン共和国と軍事的な関係を深め、旧ア・バオア・クーなどを再要塞化し、これに備えた。その後、連邦総会で、ティターンズが地球連邦軍そのものを指揮下に治める議題が可決され、ジャミトフの思惑は実現するかに思われたが、ダカールでのシャアのスピールで一般の支持を失なった。さらに、コロニーレーザ砲をエウーゴに奪われたジャミトフは、やむを得ずジオン残党のアクシズと共闘しようとするが、交渉は決裂し、混乱の中、ジャミトフはシロッコに殺されてしまう。シロッコはジャミトフの後釜に座り、エウーゴ共々アクシズを葬ろうとするが、MS戦闘で敗れ去り、バスクもまた、艦と運命を共にしていた。指導者を失ったティターンズはこの時点で懐滅し、一部を除いて連邦軍に投降した。

Titans

ネオ・ジオン①

NEO・ZION

U.C.0081~0089

アクシズ

一年戦争で敗退したジオン

公国は、ジオン共和国に残ったり、または各地に散りゲリラとなったものもいたが、実際には、温存されていた宇宙艦艇のおよそ半数が、アステロイド・ベルトまで逃げ延びていた。彼らは、デギン公王の側近だったマハラジャ・カーンを指導者とし、ザビ家の血脈を継ぐドズル・ザビの忘れ形身ミネバ・ザビを連れて



ネオ・ジオンのシンボルマーク



ハマーン・カーン

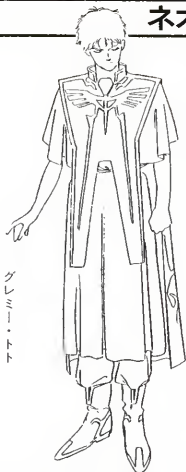
いた。0081年3月にアステロイド・ベルトにたどり着いた艦隊は、2年の歳月をかけ、資源採掘小惑星のアクシズを要塞化し、ジオン復興を期していた。

地球圏を脱してから後、宇宙艦艇の中で窮乏生活が続けながら、居住ブロックとなるモウサを建設している最中も、アクシズはMSの研究を続けていた。多くのものは、

既存の機種の発展型だったが、建設用機器との兼用が可能な機種の開発も平行して進められた。この時期にもっとも量産された機種がこれで、いわゆるガザ系MSが確立された。ガンダリウムⅡの製造技術もこの時期のものである。マハラジャ・カーンとドズル夫人のゼナが病死し、シャアの推薦によってミネバの摂政に就いたハマーン・カーンは、まったくまにアクシズを掌握し、

NEO・ZION

ネオ・ジオン①



グレミー・トト

父のマハラジャが採っていた方針を転換し、地球圏への帰還と軍備増強を決定した。

ハマーンは、アクシズの組織を改編し、王室近衛部隊や騎士階級などを設置し、中央集権を強化した。反対勢力や穏健派を粛正し、自らの力やスマをより強固なものにしていったのだ。兵器開発も促進され、強化人間の研究も進み、一説にはクローン技術も確立されていたと言われる。

ハマーンの方針に反発したシャアは、地球の偵察を名目にアクシズを離れ、戦艦一隻分に及ぶ人数の連邦軍の軍籍を偽造し、自分も士官として連邦軍に身を置いた。連邦の動向を探っていたシャアは、地球圏の対立がジオン対連邦という構造からアースノイド対スペースノイドという図式に移行していることを知り、ガンダリウムⅡの技術をもって、エウーゴに参加し、さら

に移民初期のコロニーであるスウィート・ウオーターにおいて、独自の組織も作っていた。0086年、ティターンズとエウーゴの対立を知ったアクシズは、これを機と見て、地球圏へ向けて発進した。グリプス戦役終結後、アクシズはネオ・ジオンを名乗り地球圏を掌握しかけるが、内部抗争が原因で指導者をなくし、連邦により武装を解除され、その多くは連邦に投降した。この時期、連邦の実権を掌握していたのがエウーゴだったこともあり、彼らが冷遇されることはなかったが、逆にいえば、連邦政府がスペースノイドに対して、なんの関心も持っていないこと



セダンの門に激突するアクシズ。

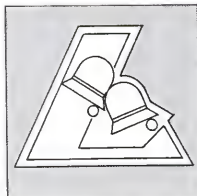
を露呈したにすぎなかった。

また、彼らが擁立していたミネバ・ザビが、いつからか影武者と入れ替わっており、求心力を失ったネオ・ジオンは実体を無くし、反地球連邦運動自体も急速に拡散してしまったかにみえた。

ロンド・ベル

Rondo Bell

U.C.0090~0093



ロンド・ベルのシンボルマーク

ロンデニオン

U.C.0090年前後、反地球連邦運動は再び活発化していった。壊滅した、かつてのネオ・ジオンのように、大きな規模には至らなかったものの、エウーゴから離反した組織や、ジオンの残党などが、散発的に反地球連邦運動を繰り広げていた。それは、デモやサボタージュから、施設の破壊など、小規模ではあっても、頻繁に起こった。これらの活動

は、警察組織で対応できない程度のもものではなかったが、連邦政府はこれに対処して見せる必要に迫られた。また、グリプス戦役当時ほどではないにせよ、「決定的な事件」を危惧する人物がいたこともあり、特別な対処組



艦長に着任するため、ラー・カイラムに向かうブライト。

織の設立が検討された。

ロンド・ベルは、かつてのティターンズにおける教訓をもとに、シビリアンコントロールを堅持するため、官庁や政府にとっては外部の組織である外郭新興団体として設立された。本部はサイドーのコロニー、ロンデニオンにあり、

ロンド・ベル

各地で頻発する反地球連邦運動の鎮圧、搜索、および摘発にあたることとなった。

文民統制を堅持するといえ、ば聞こえはいいが、実際には、各コロニーの駐留部隊の適正配分すらままならない状況にあったため、それらの再編成という、確実ではあるけれども面倒な手続きを、連邦の官吏や組織が嫌ったための方便であった。連邦政府の目は地球にしか向けられておらず、

ザビ家が減んだことによって、地球圏の脅威は、すべて消え去ったとする意見が大勢を占めていた。

ところが、その間隙を縫う形で、ネオ・ジオンの再編成が水面下で進行していた。行方不明となっていたシャア・アズナブルが、難民収容コロニーとして改造されたスウィート・ウォーターを占拠し、オネ・ジオン復活を宣言した。ここに至り、連邦軍は、ロ



ブライト・ノア

ド・ベルを実戦部隊として再編し、アナハイム・エレクトロニクスの全面的な協力も取付け、新型MSの開発も着手されることになった。隊の旗艦ラー・カイラムの艦長には、有事において実績のあるブライト・ノアが着任し、一応の対抗措置もとられた。

アクシズを落下させて気象変動を引き起こし、地球を寒冷化しようとするシャアの作戦は、かろうじて防がれた。しかし、この「シャアの反乱」は、結果的には、連邦政府に規制強化の口実を与えただけだった。政府要人や官僚の思考を変えることはできず、地球の再開発は依然として続けられていた。

ブライト・ノアは、「ニュータイプ」と目される人員達を部下として扱えたというこ

とから、連邦軍内部に、ニュータイプの再来や反逆などという事態が起きた場合の人質として考えられていた節がある。そのため、ロンド・ベルや第十三独立部隊、アデレード基地指令など、反地球連邦勢力の、搜索や掃討といった任務に狩り出され、盾として矢面に立たされることになったのだらう。

ロンド・ベル隊は、抗争終結から、さほどの期間を経ないうちに規模を縮小されることになった。

構成メンバーや使用する艦艇、MSなどは、連邦軍内部に新設された第十三独立部隊に編入されることになった。この部隊は、どの防衛隊にも属することなく、有事に際しては連邦直属の遊撃部隊としての性格を持っていた。

ネオ・ジオン②

NEO・ZION

U.C.0090～0093

スウィートウォーター

シャア・アズナブルが総師として再興したネオ・ジオンは、ハマーン・カーン率いるネオ・ジオンとはまったく別の組織であった。無論、シャアと行動を共にしていたメンバーもいたし、MS開発のスタッフなども、アクシズ以来の技術者を始め多数存在したが、実際にムサカ、ギラ・ドーガなどの建造は、アナハイム・エレクトロニクスにおいて行なわれていたのだ。そういう意味で、スウィートウォーターを拠点とするネオ・ジオンは、スペースノイド全体の支援のもとに成立していたのだといえる。

その点、ハマーンのネオ・ジオンは、あくまで

もジオン公国の再興を目指したものであった。指導者であるハマーンは、地球圏に君臨することを志向していた。そのため、アクシズの中では、ギレンの選民思想に基づいて方針が決定されていたし、あくまでも公国の残党以外のものではなかったのだ。ミネバを擁立していたことから、それを知ることができる。しかし、その選民思想によって、アクシズは内部分裂を起こし、

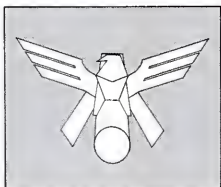
一気に互解してしまったのだ。シャアは、連邦の内部で活動したことにより、連邦政府の実体を目の当たりにしていた。そして、0088年に、ダカールの連邦議会において、自分がジオン・ズム・ダイクンの息子であることを公表した。さらに、グリプス戦役終結の直後に行方をくらませたのは、ミネバをザビ家の呪縛から解放するためだったとも言われるが、真偽のほどは定



シャア・アズナブル総師

NEO・ZION

ネオ・ジオン②



新生ネオ・ジオンのシンボルマーク

ホルスト・ハーネス



かではない。しかし、スウィートウォーターを拠点としていたシャアが、連邦の追及を免れるのはたやすいことだったようだ。その後、自分がジオンの子であることを明かしてもなお、賛同してくれる協力者を探していた。かつてのアクシズにおける実力者では、それはかなり困難なことでもあった。

連邦の横暴さは目に余るようになっており、シャアのような存在の登場を待ちわびていた勢力もあった。それは、ジオンの残党でもあり、反地球連邦組織でもあった。なによりも、民衆の賛同を得られたことが、シャア率いるネオ・ジオンにとって幸いであった。賛同者は、度重なる戦闘で生まれた難民を始め、様々な層にわたっていた。実際には、連邦内部でも、シャアのような人物が立つのを待望していた勢力があった。無論、

コントリズムの提唱者であるジオン・ダイクンの息子であるという裏付けは有利に作用したが、シャア本人のカリスマ自体が大きな魅力でもあったし、シャアのブレンもまた、そういう演出を心掛けていた。スベースノイドの心を急速に捕え、ネオ・ジオンの賛同者を増やせたのは、ホルスト・ハーネスら側近の力によるところも大きかったのである。

人類が、こうまで愚かな戦闘を繰り返してしまう

のは、極論すれば、地球に住む人と宇宙に住む人がいるからである。宇宙移民が開始された時期の構想に立ち戻り、人類のことごとくが宇宙に暮らすようになれば、こんな争いは無くなるはずだ。シャアは、

このひどく単純なことを、実際にやるとうとしたのだ。地球上にアクシズを落下させ、核の冬と同様の効果をもたらす。すなわち、地球を居住不能にしてしまうのだ。しかし、それは同時に、地球に住む人々を虐殺することを意味する。シャアは、その罪を一身に背負うことで、人類の歴史から戦争をなくそうとしたのだ。もつとも、シャア自身がそこまで思い込んでいたかどうかは別としても、彼は結局、結果的には失敗した。求心力をもつ指導者を失ったネオ・ジオンは崩壊し、後の反地球連邦運動そのものを、いくつかの例外を除いてアングラ化させることになる、しかし、連邦の体質は変わることはなかった。(各項目の関連、参照事項は既刊を参照のこと)

NEO・ZION



ティターンズ制服紋章一覧

TITANS

MEMBERSHIP EMBLEM

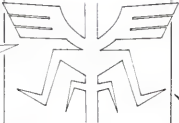
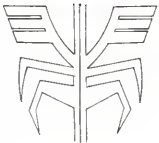
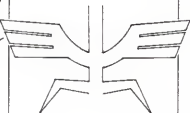
将官	二タ研大尉	中尉
佐官	二タ研少尉	少尉
准佐	上級大尉	准尉
尉官	大尉	曹長

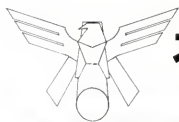
※ティターンズの階級は、基本的に連邦軍と同じ襟章で表しますが、制服は新調する時点で特注のものに変更されました。また、当時は「一般軍人より一階級上」という風潮のため、服飾担当官に混乱もあったようです。



ネオ・ジオン軍階級章一覧

NEO ZION KORPS
WAHRZEICHEN

総帥 (ミネバ)	摂政 (ハマーン)	指令部副官 (オウギュスト)
		
王室近衛兵 (ランス、ニー)	騎士 (マシュマー)	強化部隊士官 (キャラ)
		
強化部隊士官 (マシュマー)	NT部隊士官 (ブルツァー)	上級大尉 (ゴットン)
		



ネオ・ジオン軍階級章一覧

NEO ZION

FORCES EMBLEM

総帥(肩章)	総帥(刺繍)	総帥(袖章)
将官	佐官	尉官
将官(勲章)	佐官(勲章)	尉官(勲章)
	金	銀

※新生ネオ・ジオンでは、将官、佐官は勲章、袖章で、尉官は制服のほかに、ノーマルスーツなどの襟章で階級を表示していたようです。また、佐官以上の肩章は金刺繍です。

キャラクター設定資料集



ナ行~ワ行

●「機動戦士ガンダム」「機動戦士ガンダム~ポケットの中の戦争~」「機動戦士Zガンダム」「機動戦士ガンダムZZ」「機動戦士ガンダム 逆襲のシャア」に登場したキャラクターのデザイン画を、解説つきで50音順に掲載している。

は

ばあ

バーテンの親父

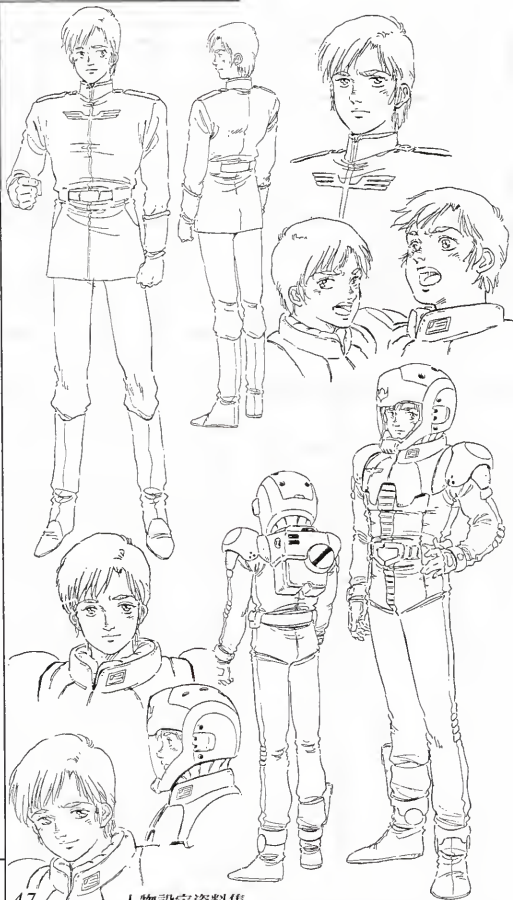
登場作品/
機動戦士ガンダム0080
登場話数・3話～
所属・民間人
(ジオン協力者)

サイド6でのジオン軍
サイクロプス隊の協力者。
シュタイナーの旧友。バ
ーニィの脱出のためにチ
ケットを入手してくれた。

バーナード・ワイズマン

登場作品/機動戦士ガンダム0080
登場話数・1話～
所属・ジオン軍
階級・伍長

初陣でザクを潰し、サイクロプス
隊に欠員の補充として編入されたジ
オン兵。サイド6でアルと出会い、
兄のように慕われる。アルを介して
クリスと知り合い、互いに敵である
ことを知ら
ずに好意を
抱く。作戦
に失敗する
とコロニー
が核ミサイ
ルで攻撃さ
れるためザ
クで戦いを
挑むが、ア
ルの協力も
空しくクリ
スが乗るア
レックスに
倒された。





パオロ・カシアス

登場作品/
機動戦士ガンダム
登場話数・1話〜4話
所属・地球連邦軍
階級・不明

戦艦ホワイトベ
ースの初代艦長。

ホワイトベースを
地球からサイド7
まで運行。ジオン
との戦闘でムサイ

の攻撃を受けて負傷。敵の補給艦
バプアを撃破した後、ルナツーの
前進基地に入港するが、そこでの
シャアとの戦闘中に死亡する。





ハサウェイ・ノア

登場作品/機動戦士Ζガンダム
機動戦士ガンダム逆襲のシャア
登場話数・17話～
所属・民間人

ブライトとミライの息子。シャア率いるネオ・ジオンと地球連邦の戦いに巻き込まれ、父ブライトのいるロンデニオンに向かおうとする。しかしチケットが一枚しか手に入らず、母と妹を残して単身宇宙へと上った。ロンデニオンに向かうシャトルの中でクェスと出会い、彼女に振り回されながらも魅かれていく。彼女をシャアのもとから救い出すために戦場におもむいた。

ハサン

登場作品/機動戦士Z、ZZガンダム

登場話数・41話〜1話〜

所属・エウゴ

階級・不明

アーガマに乗船している医師でクルーの健康を管理している。強化人間の疑いがかかったロザミアを調べ、彼女が人工的に作られたニュータイプであり、各種の薬物が投与されていたことを説明した。



バスク・オム

登場作品/機動戦士Zガンダム

登場話数・1話〜

所属・ティターンズ

階級・大佐

ティターンズの総指揮官、連邦軍大佐。冷酷な権力主義者で毒ガスを

使用した30ベンチ事件の実行者。ティターンズは「選ばれた資質」であるという選民思想の持ち主。



パプテマス・シロッコ

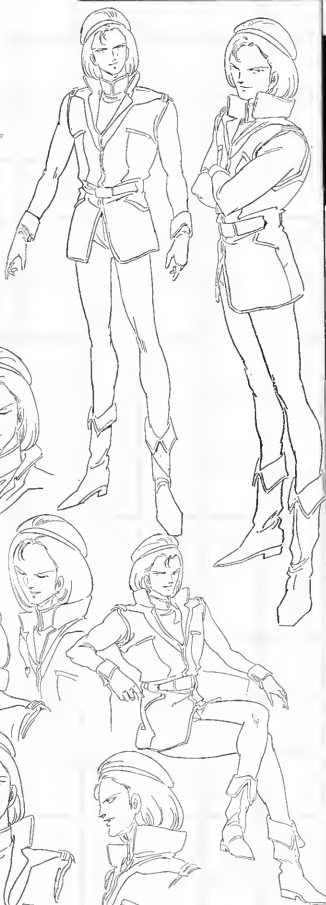
登場作品/機動戦士Ζガンダム

登場話数・10話～

所属・地球連邦軍

階級・大尉

木星の巨大輸送艦ジュビトリスで養成された強力なニュータイプ。ハンドメイドでMSを作り上げる技術を持ち、戦略家でもある。戦後の地球を支配するのはニュータイプの女性であると説き、己の理想の実現のために有利な人間を器用に使いこなす。ジャミトフ、バスクを殺してティターンズを指揮し、アクシズと共にエウゴを攻撃する。最後にカミーユのΖに敗れるが、カミーユの精神を道連れにするという執念深い男だった。





ハマー・カーン

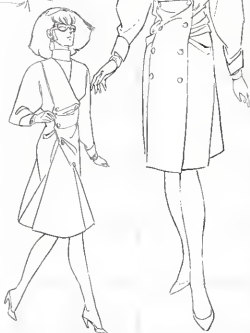
登場作品/機動戦士Z、ZZガンダム

登場話数・32話～ 1話

所属・アクシズ(ネオ・ジオン)

階級・摂政

ジオン公国のフラナガン機関で育てられていたニュータイプ。ミネバ・ザビを擁してジオン再興を掲げ、摂政としてアクシズの実権を握る。エウゴとティターンズの戦いに途中から関わり、シロッコと組んでシャア、カミーユと対決。その後、ネオ・ジオン軍を指揮し、ダブリンにコロニーを落として地球連邦側にサイド3を譲渡させたが、グレミー・トトの反乱に遭う。ジュードを自分の元に誘うが拒まれ、ZZガンダムに敗れて戦死した









ハヤト・コバヤシ

登場作品/機動戦士ガンダム

機動戦士Z、ZZガンダム

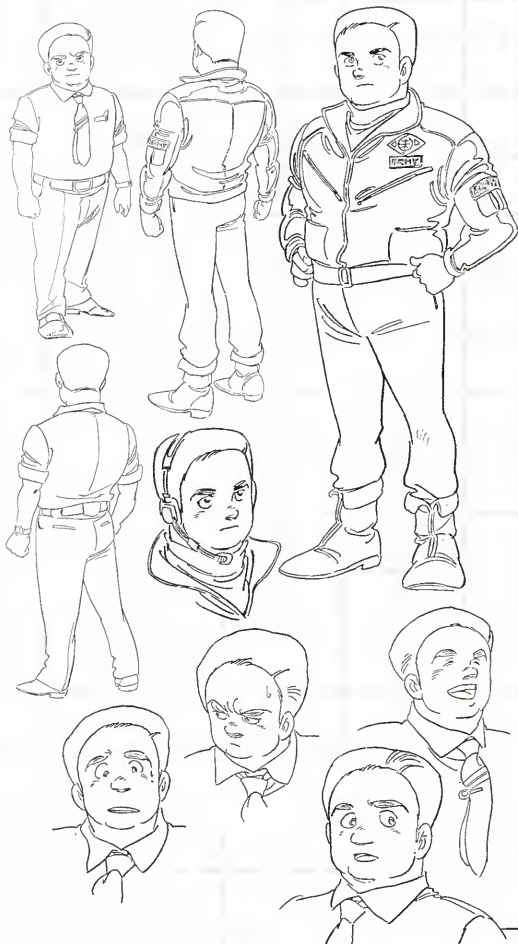
登場話数・1話～12話～15話～36話

所属・カラバ

階級・伍長/不明/不明

アムロの幼馴染み。MSのパイロットとして活躍。一年戦争の後フラウと結婚。カラバのメンバーとなり、アウドムラの指揮をとってエウーゴを支援する。ダブリンへのコロニー落としの際、ジュードを守って戦死する。







バンマス

登場作品/機動戦士ガンダム

登場話数・36話〜

所属・地球連邦軍

階級・軍曹

ホワイトベースの乗組員で軍曹。ミライのかわりに一時舵をとった。通常は第二ブリッジにいる。



ヒルダ・ビタン

登場作品/機動戦士Ζガンダム

登場話数・1話〜3話

所属・地球連邦軍

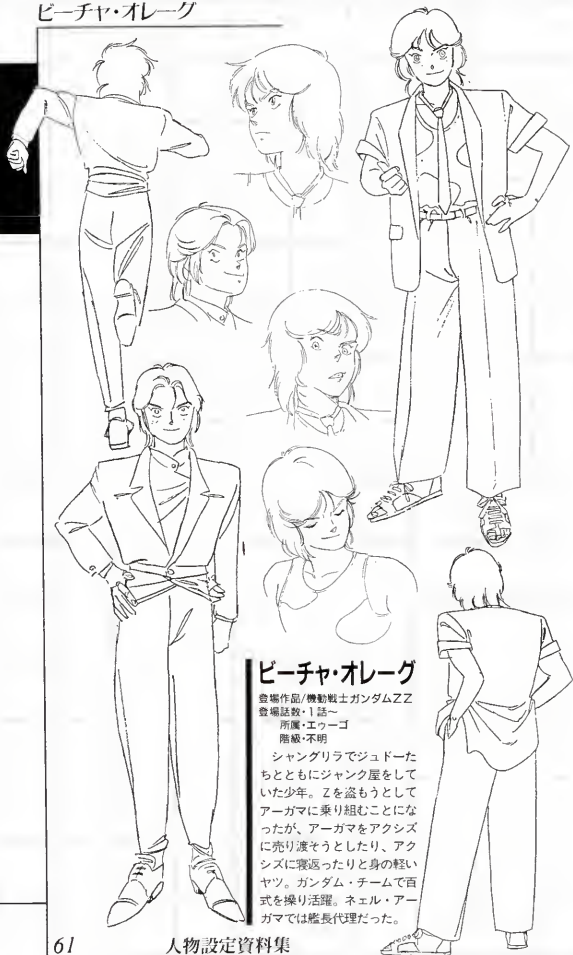
階級・中尉

カミーユの母親で連邦軍の技術士官。カミーユがエウゴに渡したMk-Ⅱの奪回作戦でティターンズの人質となり、カプセルで宇宙に出され、カミーユの目前でジェリドに狙撃されて死亡した。



ひ





ビーチャ・オレーグ

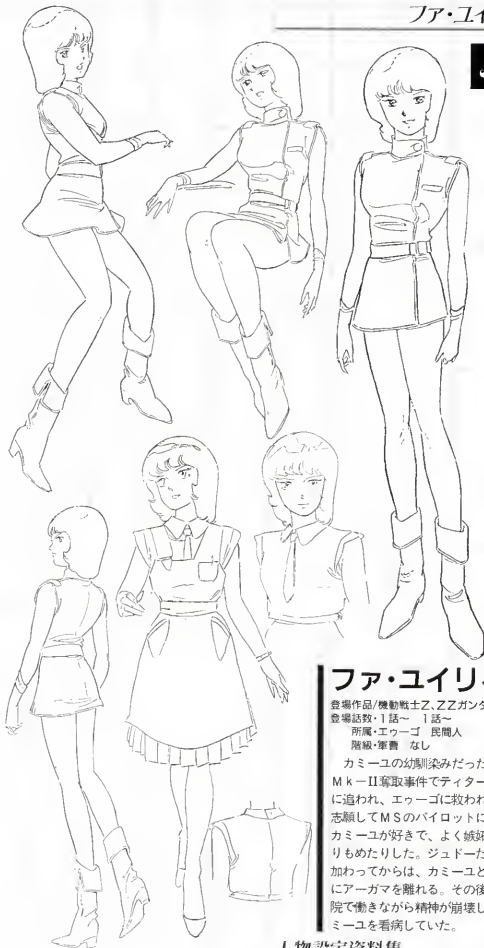
登場作品/機動戦士ガンダムZZ

登場話数・1話～

所属・エウゴ

階級・不明

シャングリラでジューたちとともにジャンク屋をしていた少年。Zを盗もうとしてアーガマに乗り組むことになったが、アーガマをアクシズに売り渡そうとしたり、アクシズに寝返ったりと身の軽いヤツ。ガンダム・チームで百式を操り活躍。ネエル・アーガマでは艦長代理だった。



ファ・ユイリイ

登場作品/機動戦士Z、ZZガンダム

登場話数・1話～1話～

所属・エウゴ 民間人

階級・軍曹 なし

カミーユの幼馴染みだったため、Mk-II奪取事件でティターンズに追われ、エウゴに救われる。志願してMSのパイロットになる。カミーユが好きで、よく嫉妬したりもめたりした。ジドーたちが加わってからは、カミーユとともにアーガマを離れる。その後、病院で働きながら精神が崩壊したカミーユを看病していた。



フォウ・ムラサメ

登場作品/機動戦士Ζガンダム

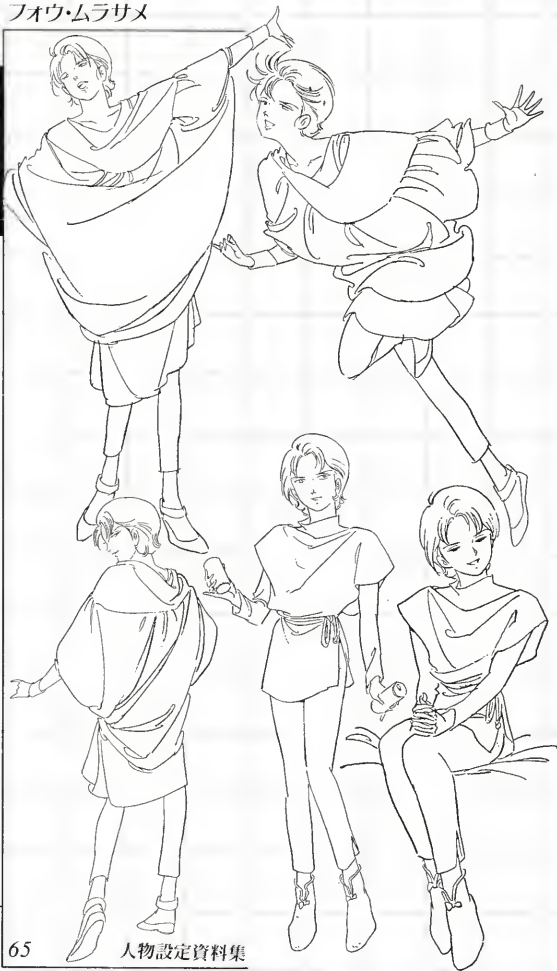
登場話数・17話～36話

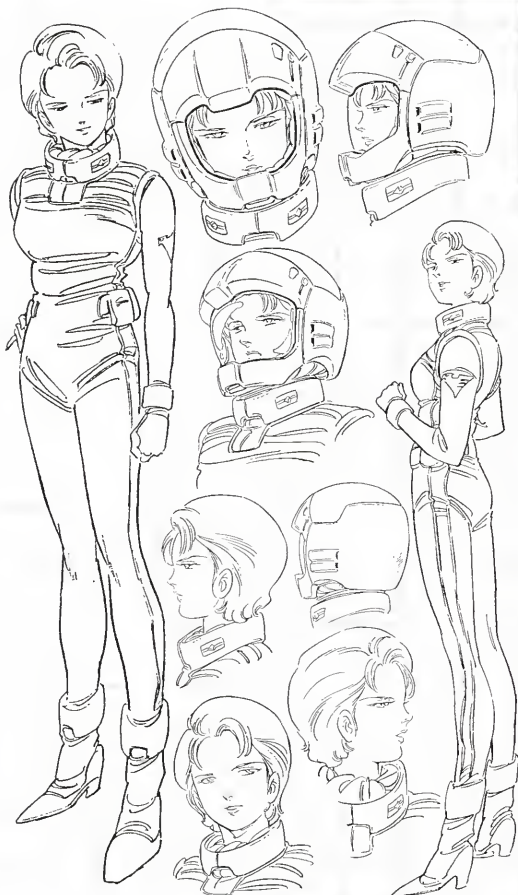
所属・ムラサメ研究所

階級・少尉

ムラサメ研究所から来た少女で、強化人間。過去の記憶を求めてサイコガンダムに乗り、Mk-IIに敵対する。ホンコンでカミーユと出会い、自分をティターンズから脱出させようとしてくれたカミーユを守ってバイアランのサーベルを受け、カミーユの腕の中で息絶える。アムロに対するラァと同じ存在であった。







ブライト・ノア

登場作品/機動戦士ガンダム

機動戦士Zガンダム

機動戦士ガンダムZZ

機動戦士ガンダム逆襲のシャア

登場話数・1話～ 1話～ 1話～

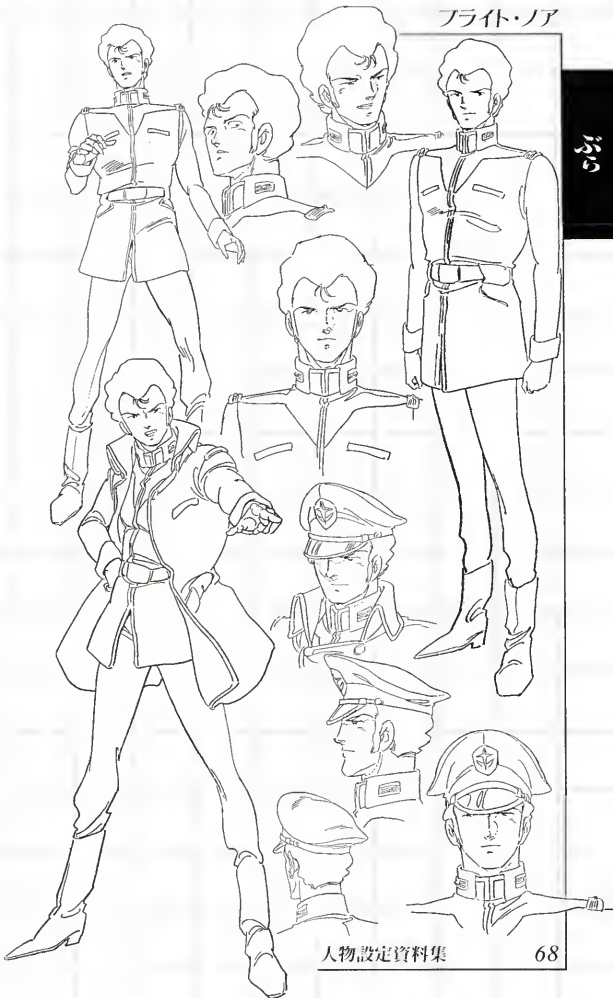
所属・地球連邦軍 エウゴ エウゴ

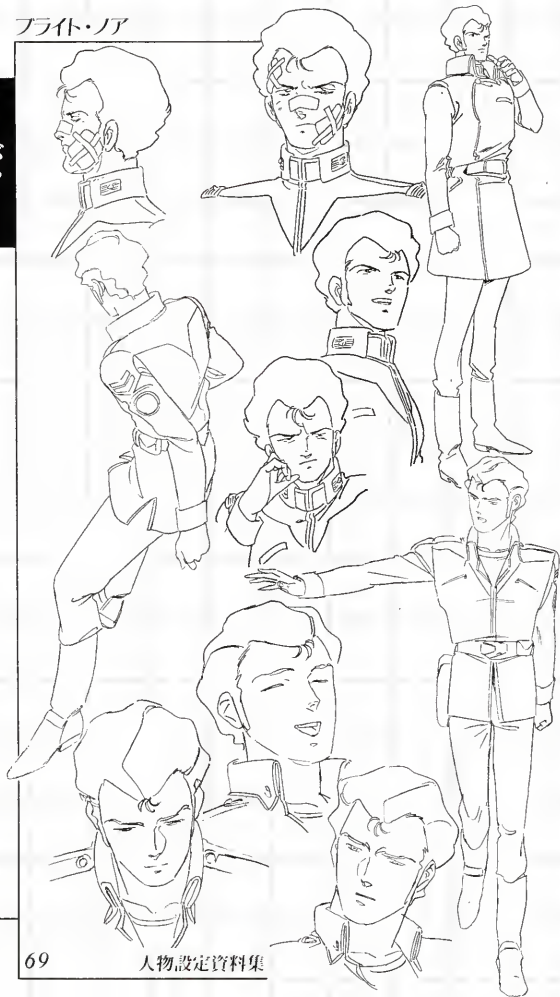
地球連邦軍

階級・中尉 大佐 大佐

ホワイトベースに士官候補生として乗り組む。艦長の死亡後、他に正規の士官がいなかったため弱冠19歳にして艦の指揮をとることになる。数々の戦いを経て艦長としての適確な判断力を備えて行く。一年戦争の後ミライと結婚、二児の父親となる。その後もエウゴではアーガマの艦長となり、常にガンダムを搭載した戦艦の艦長を務めた。アムロ以来歴代のニュータイプを見てきた人でもある。









フラウ・ボゥ

登場作品/機動戦士ガンダム
機動戦士Zガンダム
登場話数・1話～13話～
所属・地球連邦軍 民間人
階級・上等兵

アムロのガールフレンド。
サイド7へのジオンの攻撃の
時母と祖父を失いホワイトベ
ースの一員となり、いつもア
ムロの身を案じていた。一年
戦争の後、カツ・レツ・キッ
カを養子にしてハヤトと結婚。
7年後、妊娠6ヵ月の身で、
成長した三人を伴ってアムロ
のもとを訪ねた。











フラナガン博士

登場作品/機動戦士ガンダム

登場話数・37話

所属・ジオン軍

(ニュータイプ研究所)

階級・不明

ニュータイプ研究所フラナガン機関の所長。サイコミュを研究し、ララのニュータイプとしての能力を開花させた。



フラナガン博士

登場作品/機動戦士ガンダムⅢ
(劇場版)

所属・ジオン軍

(ニュータイプ研究所)

階級・不明

前記フラナガン博士と同一人物。
ただし、劇場版ではキャラクター
デザインが変更され、声優も変わ
った。



フラナガン・ブーン

登場作品/機動戦士ガンダム

登場話数・26話～28話

所属・ジオン軍

階級・不明

潜水艦ユーコンの艦長。ホワイトベースにミハルを送り込んで情報入手、部下の仇を打つためグラブロで出撃、善戦するがガンダムに倒される。



フランク・ピタン

登場作品/機動戦士Ζガンダム

登場話数・2話～4話

所属・地球連邦軍 階級・大尉

カミーユの父親で連邦軍技術士官。カミーユのMk-II奪取の際ヒルダと共にティターンズの人質となる。エウゴに救われながら、リックディアスを奪って逃走し、撃破される。



フランク・ブルターク

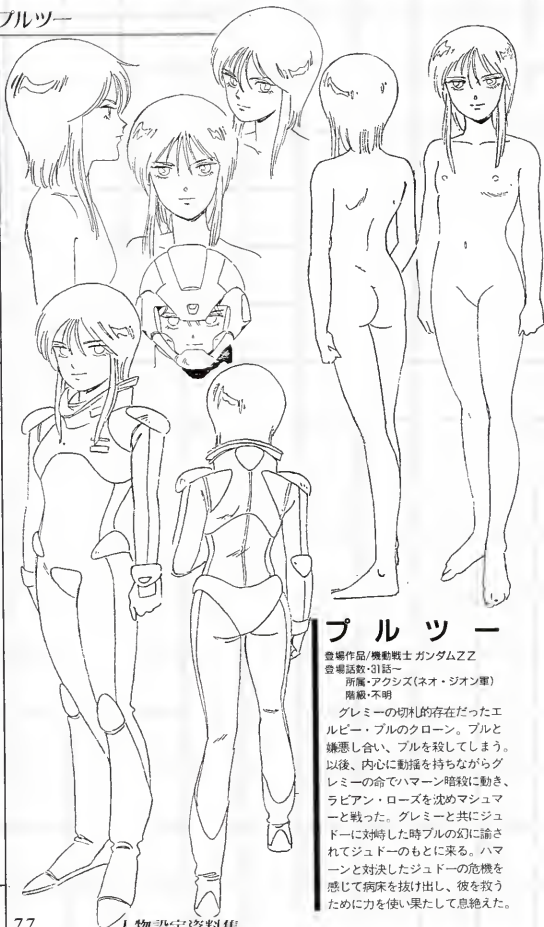
登場作品/機動戦士Ζガンダム

登場話数・13話～16話

所属・地球連邦軍 階級・少佐

地球連邦軍の少佐でスードリのキャプテン。アッシュマーで再三エウゴを翻弄。ケネディでのシャトル発進の妨害、アウドムラ攻撃、ヒッコリー襲撃など、エウゴのクワトロ達を舌戦させた。アムロに援護されたカミーユのMk-IIに撃墜された。





ブルツ

登場作品/機動戦士ガンダムZZ

登場話数・31話

所属・アクシズ(ネオ・ジオン軍)

階級・不明

グレミーの切札的存在だったエルピー・ブルのクローン。ブルと嫌悪し合い、ブルを殺してしまう。以後、内心に動揺を持ちながらグレミーの命でハマーン暗殺に動き、ラビアン・ローズを沈めマッシュマーと戦った。グレミーと共にジュドーに対峙した時ブルの幻に諭されてジュドーのもとに来る。ハマーンと対決したジュドーの危機を感じて病床を抜け出し、彼を救うために力を使い果たして息絶えた。

ブレックス・フォーラ

登場作品/機動戦士Zガンダム

登場話数・3話〜24話

所属・エウ・ゴ 階級・准将

地球連邦軍准将。スペースノイドに対する連邦の方針に疑問を持ち、反連邦組織エウ・ゴを指導するようになる。クワトロ大尉と共に参加していたダカールでの連邦政府総会で、ジャミトフ配下のティターンズに暗殺され、クワトロ、即ちシャアにエウ・ゴの全権を託して絶命した。「ジオン・ダイクの遺志」を継ぐシャアの意志を支持している人物であった。

ぶれ





ベルガミノ

登場作品/機動戦士ガンダム
登場話数・33話
所属・民間人

サイド6付近にある浮きドックの修理屋。連邦軍、ジオン軍双方の修理を受け、戦争で大儲けしている男。修理に来ていたホワイトベースを狙うコンスコンの攻撃でドックを壊された。

ペルシア&コーリー

登場作品/機動戦士ガンダム
登場話数・8話
所属・民間人

ホワイトベースの避難民母子。地球で夫の故郷セントアンジェを目指す、そこは既に荒野と化していた。ジオン軍のバムロから救援物資をもらった。

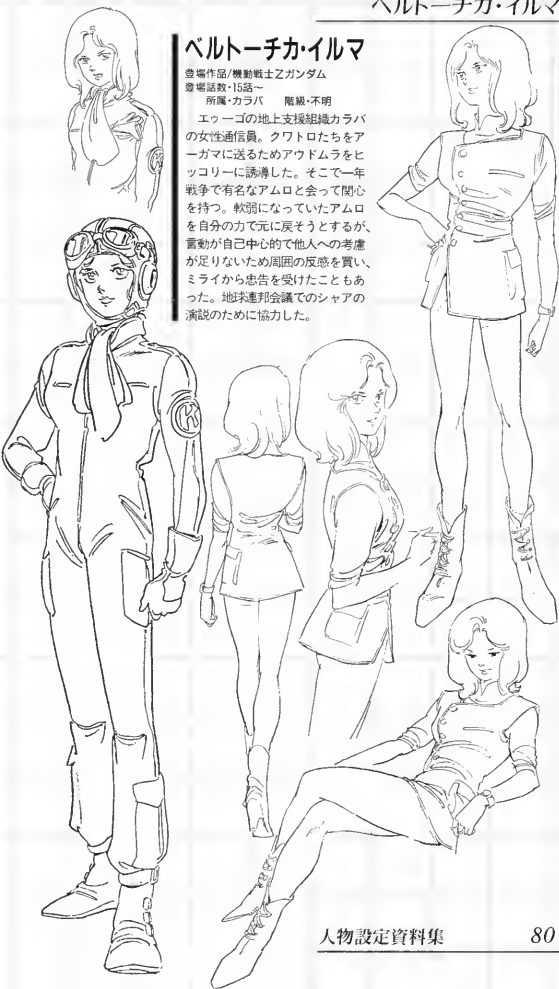
ベルトーチカ・イルマ

登場作品/機動戦士Zガンダム

登場話数・15話～

所属・カラバ 階級・不明

エウーゴの地上支援組織カラバの女性通信員。クワトロたちをアーガンに送るためアウドムラをヒッコリーに誘導した。そこで一年戦争で有名なアムロと会って関心を持つ。軟弱になっていたアムロを自分の力で元に戻そうとするが、言動が自己中心的で他人への考慮が足りないため周囲の反感を買い、ミライから忠告を受けたこともあった。地球連邦会議でのシェアの演説のために協力した。





ベン・ウッター

登場作品/機動戦士Ζガンダム

登場話数・15話～20話

所属・地球連邦軍

階級・大尉

ブラン死後のスードリのキャプテン。フォウのサイコガンダムを使用。ミライ母子を拉致してアウドムラに降伏を要求して失敗、スードリでアウドムラへの特攻を行った。



ヘンケン・ベッケナー

登場作品/機動戦士Ζガンダム

登場話数・3話～49話

所属・エウーゴ 階級・中佐

エウーゴの幹部。アーガマの艦長の座をブライトに譲る。一時月の都市アンマンで情報収集と支援工作をし、ラーディッシュの艦長となる。ゼダンの門の戦いでエマ中尉を守って戦死。豪放だがエマへの思いは健気だった。



ボラスキニフ

登場作品/機動戦士ガンダム

登場話数・29話

所属・ジオン軍

階級・曹長

MSゾックの搭乗員。ジャブローでのホワイトベース攻撃でシャアのズゴックを援護してガンダムのビームライフルを受け、死亡。



マーカ・クラン

登場作品/機動戦士ガンダム

登場話数・2話〜

所属・地球連邦軍

階級・軍曹

士官候補生としてホワイトベースに搭乗。オスカとコンビのオペレーターで、ブリッジの顔的キャラクターだった。

ま

ま
あ



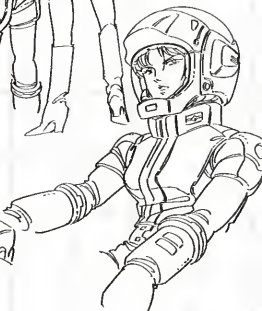
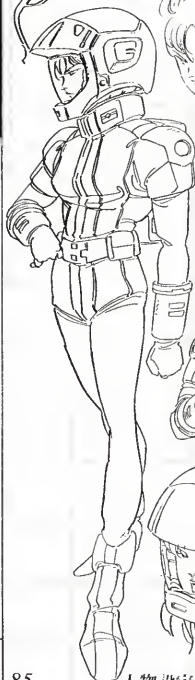
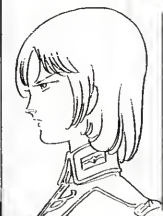
マウアー・ファラオ

登場作品/機動戦士Zガンダム

登場話数・12話～30話

所属・ティターンズ 階級・少尉

ジャブロー脱出でジェリドを助け、以後彼と行動を共にした。宇宙では揃ってシロツコの部下となる。「男を踏み台にして」という野望が次第にジェリドへの愛情に変わり、彼の盾となってZの攻撃を受けて戦死した。





マ・クベ

登場作品/機動戦士ガンダム

登場話数・16話〜

所属・ジオン軍 階級・大佐

キシリア配下のジオン突撃機動軍大佐。地球最大の鉱物資源採掘基地を任されている。キシリアがジオンの女王となることを望む。オデッサの戦いで条約違反の水爆を使用。テキサスの戦いではシャアの援助を拒否してガンダムで出撃、ガンダムに倒される。骨董品の収集が趣味だった。

マサイ・ンガバ

登場作品/機動戦士ガンダムZZ
登場話数・25話 所属・民間人

砂漠でジュードを助けた女性。死んだ恋人のMSの強さを町の人間に教えるために、ゲルググでガンダムチームに戦いを挑んで善戦したが敗れた。

まさ

マサキ

登場作品/機動戦士ガンダム
登場話数・35話
所属・地球連邦軍
階級・不明(看護兵)

ホワイトベースの看護兵。相次ぐ戦闘で続出する負傷兵達の看護に当たった。数少ないホワイトベースの女性搭乗員の一人。

マシュマー・セロ

登場作品/機動戦士ガンダムZZ

登場話数・1話～45話

所属・アクシズ(ネオ・ジオン軍)

階級・不明

ネオ・ジオンの青年士官。騎士道精神を尊ぶ。ハマーンに忠誠を誓い、彼女からもらったバラの花を常に離さない。ジュドーたちに苦戦を強いられて失敗続きなため、キャラ・スーンを目付け役に送り込まれて焦ったり傷ついたり。グレミーの反乱でブルソーと戦い、帰還途中にラカンの隊の攻撃を受け、断末魔のオーラを放って戦死。



まし





マチルダ・アジャン

登場作品/機動戦士ガンダム

登場話数・9話～24話

所属・地球連邦軍

階級・中尉

地球連邦軍中尉。ミデア補給隊の隊長。レビル將軍の命令でホワイトベースへの物質補給、ガンダムのパワーアップメカの輸送などにあたる。「黒い三連星」からガンダムとホワイトベースを守るために戦死。アムロが初めて淡い恋心を抱いて接した大人の女性。

マリガン

登場作品/機動戦士ガンダム
登場話数・26話～
所属・ジオン軍
階級・中尉

ジオン軍中尉。シャアの副官。マッドアングラ一隊以来の部下。気まじめな性格でしばしばシャアに対立意見を述べる。



まり



ミーシャ

登場作品/機動戦士ガンダム0080
登場話数・1話～
所属・ジオン軍
階級・少尉

ジオン軍サイクロプス隊のメンバー。ケンプファーに乗る。無類の酒好きでコックピットにはバーボンが入ったスキッドを吊り下げている。本名はミハイル・カミンスキー。



ミネバ・ザビ

登場作品/機動戦士ガンダム

機動戦士Z、ZZガンダム

登場話数・35話～/33話～ 26話～

所属・ジオン公国 アクシズ(ネオ・ジオン軍)

階級・中将嫡子 王女

ドズル・ザビの忘れ形見。一年戦争の戦火から母と共に逃れた唯一のジオン公国の継承者。ハマーンによって8歳にしてネオ・ジオンの総帥に据えられ威厳を見せるが、シタたちと遊ぶ姿は全くの子供だった。第1次ネオ・ジオン抗争の最中、影武者と入れ替わり、現在は消息不明。



みね

みね



ミハル・ラトキエ

登場作品/機動戦士ガンダム

登場話数・26話～28話

所属・民間人(ジオン軍スパイ)

ジオンに連邦軍の情報を売って幼い弟妹と暮らす少女。カイと知り合って思いを寄せ合うが、ホワイトベースに潜入して情報を流し、見逃してくれたカイと共に出撃して死亡した。

ミライ・ヤシマ

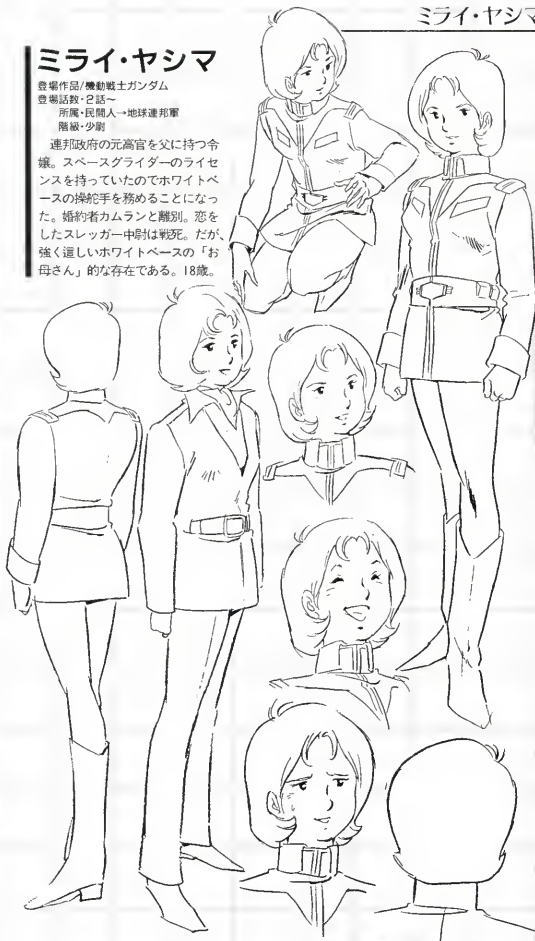
登場作品/機動戦士ガンダム

登場話数・2話～

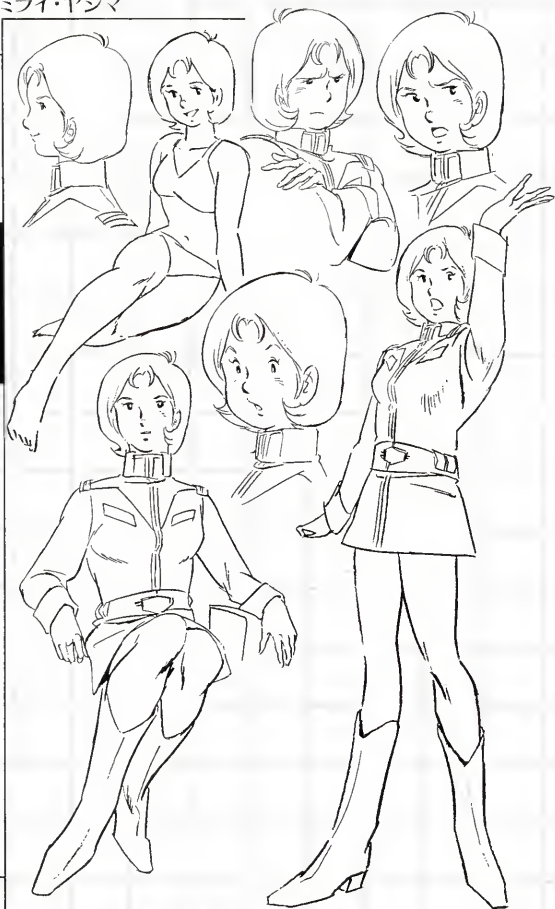
所属・民間人→地球連邦軍

階級・少尉

連邦政府の元高官を父に持つ令嬢。スペースグライダーのライセンスを持っていたのでホワイトベースの操舵手を務めることになった。婚約者カムランと離別。恋をしたスレッガー中尉は戦死。だが、強く逞しいホワイトベースの「お母さん」的な存在である。18歳。



みら



ミライ・ノア

登場作品/機動戦士Ζガンダム

逆襲のシャア

登場話数・17話～

所属・民間人

一年戦争の後ブライトと結婚。
二児の母親となる。ティターンズ
に拉致されるがアムロらに救出さ
れる。子供たちを戦争に巻き込み
たくないで地球に留まり、ホン
コン・シティで暮らしていたが、
ネオ・ジオンの隕石攻撃の際には
宇宙に避難しようとした。

みら





ミリィ・チルダー

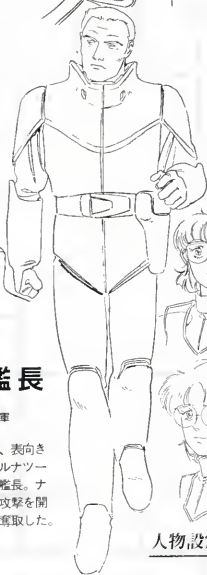
登場作品/機動戦士ガンダムZZ

登場話数・15話〜

所属・アナハイム・エレクトロニクス社

階級・メカニックマン

アナハイム・エレクトロニクス社から来た、ラビアンローズの女性メカマン。少々頼りないエマリーのお目付け役。見かけによらず気丈な少女。



ムサカ艦長

登場作品/逆襲のシャア

所属・ネオ・ジオン軍

階級・不明

ネオ・ジオン軍の、表向きは武装解除の目的でルナツーに向かったムサカの艦長。ナナイが同乗。到着後攻撃を開始、基地の核兵器を奪取した。

メッチャー・ムチャ

登場作品/機動戦士ガンダムZZ

登場話数・15話～

所属・アナハイム・

エレクトロニクス社

階級・技術士官

アナハイム・エレクトロニクス社の技術者。メガライダーやネエル・アーガマの引き渡しに来る。頭の堅いおじさん。実はすごい臆病者。

め



メズン・メックス

登場作品/機動戦士Zガンダム

登場話数・1話

所属・民間人

カミーユが通っていたハイスクールの空手部の主将。病気を理由に部をサボろうとしたカミーユに平手をくらわした少年。17歳

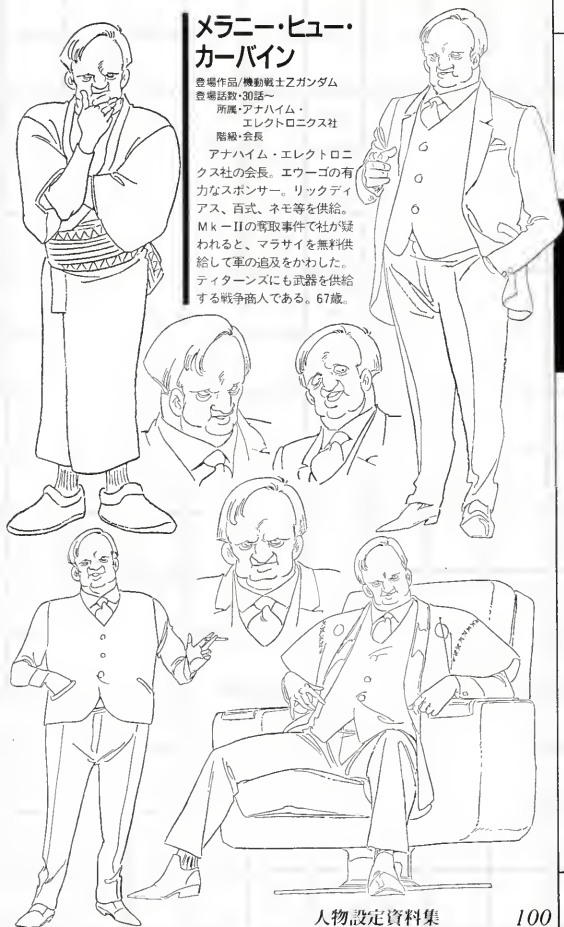


メラニー・ヒュー・カーバイン

登場作品/機動戦士Ζガンダム
登場話数・30話〜

所属・アナハイム・
エレクトロニクス社
階級・会長

アナハイム・エレクトロニクス社の会長。エウゴの有力なスポンサー。リックディアス、百式、ネモ等を供給。Mk-IIの奪取事件で社が疑われると、マラサイを無料供給して軍の追及をかわした。ティターンズにも武器を供給する戦争商人である。67歳。



めい

モスク・ハン

登場作品/機動戦士ガンダム

登場話数・40話

所属・地球連邦軍 階級・博士

連邦軍ソロモン技術本部の電磁工学博士。向上したアムロの反射神経能力に、操縦系を適應させるため、ガンダムにマグネットコーティングを施した。

も

もす





モンド・アガケ

登場作品/機動戦士ガンダムZZ

登場話数・1話～

所属・エウゴ 階級・不明

シャングリラ以来のジューの友達。アーガマでは主に索敵を担当。仲間うちでは一番メカに強く、ムーンムーンでは御神体のキャトルを修理して動かした。いつもビーチチャとつるんで悪巧みの片棒を担いでいたが、好意を持っていたラサラがモンドを守って死亡する一件があってから少し大人になった。Mk-IIと百式を受用。

ヤザン・ゲートル

登場作品/機動戦士Z、ZZガンダム

登場話数・24話～ 1話～

所属・ティターンズ 階級・中尉

ティターンズのパイロット。腹黒く、主義の異なるジャマイカンを策に陥れて葬った。シロッコに同調するがジェリドらには敬遠される。ハンブラビの「くもの巣攻撃」でカミーユのZを苦しめた。シャングリラに流れ着いてジュードたちに助けられたが、打倒Zを諦めず、ジュードのZにゲゼテ応戦した。

や

や





ライラ・ミラ・ライラ

登場作品/機動戦士Ζガンダム

登場話数・3話〜7話

所属・地球連邦軍 階級・大尉

地球連邦軍の宇宙巡洋艦、ボスニアのガルバルディ部隊の隊長。MSの操縦技術は抜群で、好戦的な女丈夫。ルナツー付近でクワトロのリックディアスに敗退。それ以来アーガマを追っていた。ジェリドに無重力での戦闘を教える約束だったが、30バンチでカミーユと出会い、そのMk-IIと戦って死亡。

ら





ライル

登場作品/逆襲のシャア
所属・ネオ・ジオン軍
階級・不明

シャア率いるネオ・ジオン艦隊の旗艦、レウルーラの艦長。シャアがサザビーで出撃した後は指揮系統をまかされていた。



ラカン・ダカラン

登場作品/機動戦士ガンダムZZ
登場話数・21話〜46話
所属・アクシズ(ネオ・ジオン軍)
階級・不明

ネオ・ジオン軍の士官。グレミーの反乱では地球をもらう約束でグレミー側についた。ドライセン、ザクⅢ、ドーベン・ウルフでジュドーを翻弄した。

ラサラ・ムーン

登場作品/機動戦士ガンダムZZ

登場話数・13話〜

所属・民間人

ムーンムーンの光族の少女。
サラサ・ムーンの双子の妹。
平和を望み、姉と対立していたが、
ジドーらの戦いを見て和解。その後、
タイガーバウムでのズゴックレプリカとの戦いでモンドを守って死亡。



ラムサス・ハサ

登場作品/機動戦士Zガンダム

登場話数・33話〜34話

所属・ティターンズ

階級・少尉

ヤザンの腹心の部下。ヤザン、ダンケルとの連係プレーの三角フォーメーションでZを窮地に陥れた。

ララァ・スン

登場作品/機動戦士ガンダム

登場話数・34話～41話

所属・ジオン軍 階級・少尉

シャアにニュータイプとして
の能力を見出された少女。エル
メスのサイコミュを自在に操る。
実戦でアムロと出逢い、交感す
るがシャアを深く愛していたた
め仲間になり得なかった。シャ
アを庇ってアムロに殺されるが、
その魂は以後もアムロとシャア
から離れることはなかった。







ランス・ギレン

登場作品/機動戦士ガンダムZZ

登場話数・41話～46話

所属・アクシス(ネオ・ジオン軍)

階級・不明

ネオ・ジオンの親衛隊の一人。
強化人間となったキャラ・スー
ンのお目付け役。ニー・ギレ
ンとは兄弟。



ランバ・ラル

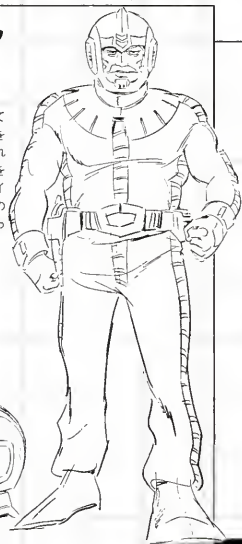
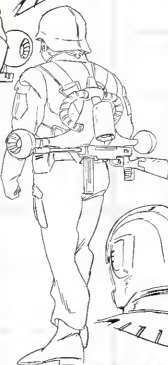
登場作品/機動戦士ガンダム

登場話数・12話～20話

所属・ジオン軍

階級・大尉

ドズル・ザビの命を受けて
ガルマ・ザビの仇討ち任務を
遂行。部下に敬愛される優れ
た戦士で、ホワイトベースを
窮地に陥れる。ジオン・ダイ
クンに仕えたジンバ・ラルの
息子。リュウと相撃ちになっ
て重傷を負い、自爆した。



らん

リード

登場作品/機動戦士ガンダム

登場話数・5話〜

所属・地球連邦軍

階級・中尉

連邦軍サラミスの艦長。
ジャブローに向けホワイト
ベースを護衛中の攻撃
で被弾。ホワイトベース
に収容された。

り



りィ



リィナ・アーシタ

登場作品/機動戦士ガンダムZZ

登場話数・1話〜

所属・民間人(人質?)

ジュード最愛の妹。悪いことを
しがちな兄を監督するしっかり者。
ルーと間違えられてグレイミーに拉
致され、レディになるための教育
を施される。ネオ・ジオンのパー
ティーの夜、侵入したジュードを
庇って負傷。隠れた倉庫が戦いで
燃え、死んだと思われていたがセ
イラに助けられていた。ジュード
が木星に向かう日に再会を果たす。







リュウ・ホセイ

登場作品/機動戦士ガンダム

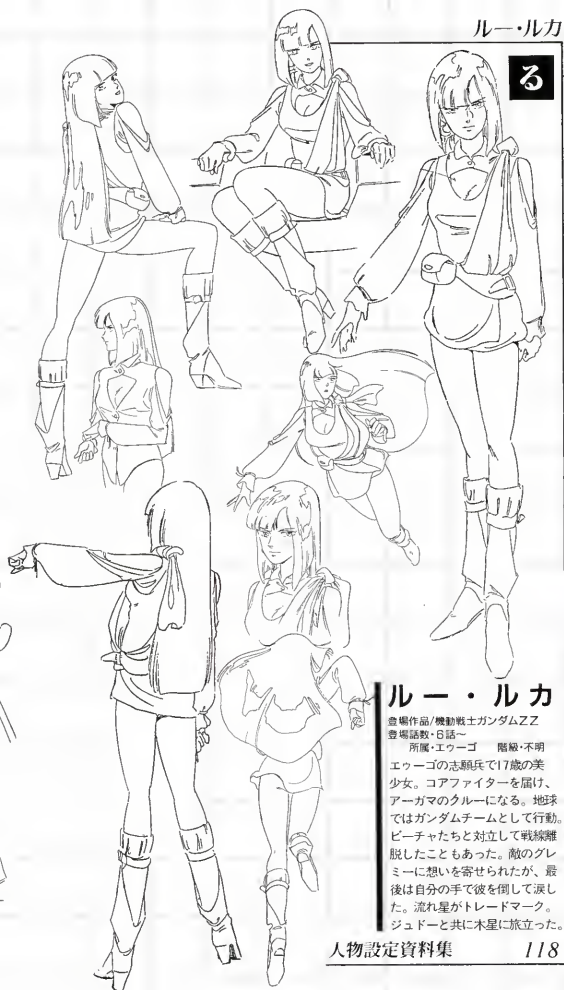
登場話数・2話～21話

所属・地球連邦軍 階級・中尉

ホワイトベースのパイロット
の中で唯一正規の軍人の教育を
受けている。コアファイター、
ガンタンクなどの操縦をこなす。
温厚な性格で縁の下の力持的な
存在。ハモンのマゼラトップ
からガンダムを守るためコアフ
ァイターで特攻し、爆死した。



る



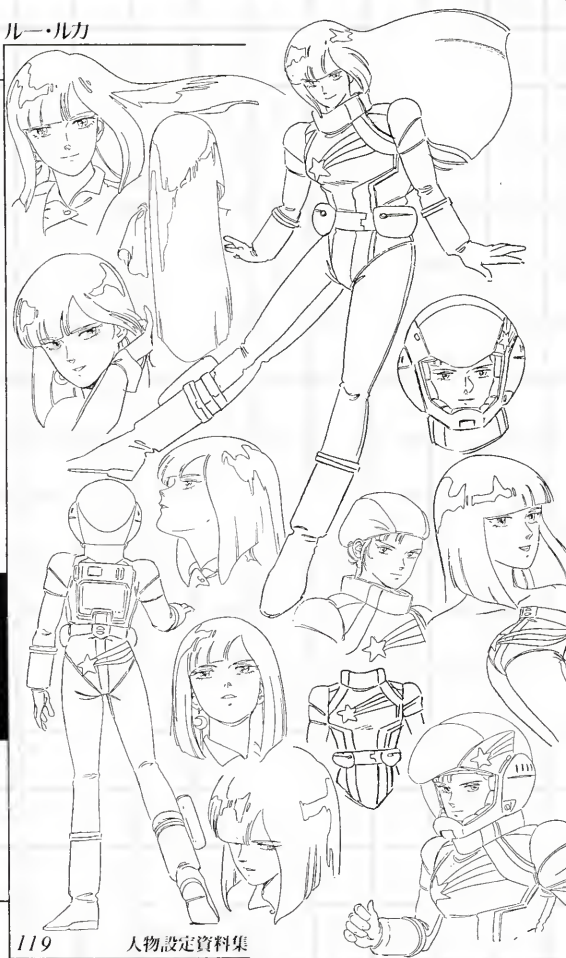
ルー・ルカ

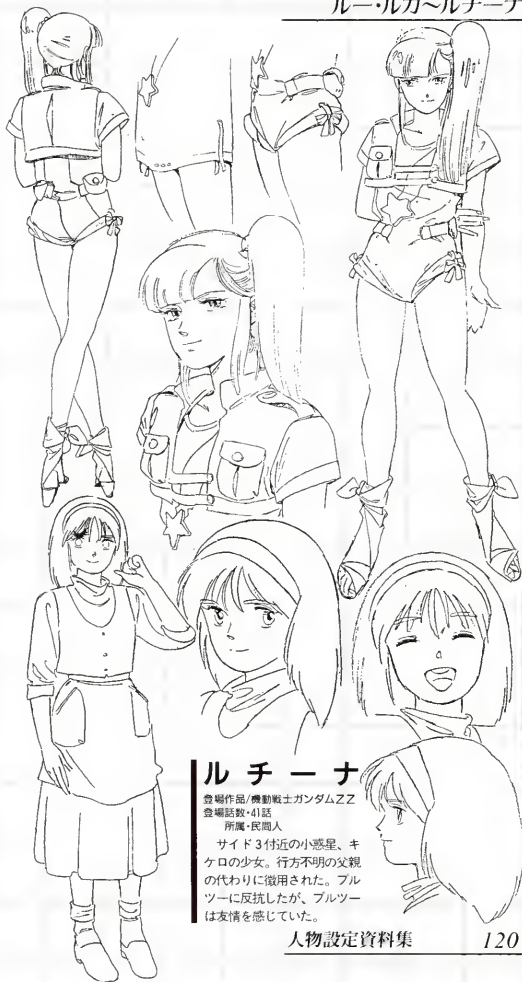
登場作品/機動戦士ガンダムZZ

登場話数・6話～

所属・エウゴ 階級・不明

エウゴの志願兵で17歳の美少女。コアファイターを届け、アーガマのクルーになる。地球ではガンダムチームとして行動。ビーチャたちと対立して戦線離脱したこともあった。敵のグレイミーに想いを寄せられたが、最後は自分の手で彼を倒して涙した。流れ星がトレードマーク。ジュードと共に木星に旅立った。





ルチーナ

登場作品/機動戦士ガンダムZZ

登場話数・41話

所属・民間人

サイド3付近の小惑星、キケロの少女。行方不明の父親の代わりに徴用された。ブルツーに反抗したが、ブルツーは友情を感じていた。

レコア・ロンド

登場作品/機動戦士Zガンダム

登場話数・3話～49話

所属・エウゴ→ティターンズ

階級・少尉

アーガマではジャブロー潜入、ドゴス・ギア潜入など情報工作員として活躍。ジャブローではカミーユに救助され、彼にとっては姉のような存在の23歳。シロッコに魅かれ、捕虜になってそのままティターンズに転身した。カミーユにコロニーレーザーの完成を伝え、グリプス2での戦いでエマに敗れて戦死。

れ



れこ





レズン・シュナイター

登場作品/逆襲のシャア
所属・ネオ・ジオン軍
階級・不明

ネオ・ジオン軍の女傑パイロット。MSギラ・ドーガ隊の小隊長。ニュータイプや強化人間ということで、クエスのような子供が戦争に参加することを嫌っている。



れず

レ ビ ル

登場作品/機動戦士ガンダム

登場話数・23話〜42話

所属・地球連邦軍 階級・大将

連邦軍の総指揮官的な將軍。一週間戦争のときに「黒い三連星」に捕虜にされ脱走したという経歴の持ち主。ホワイトベースを支援。新兵器などを届けてくれた。デギンとの和平交渉におもむき、ギレンによるソーラ・レイの攻撃を受けてデギンと共に死亡。

ローレン・ナカモト

登場話数/機動戦士Zガンダム

登場話数・42話〜

所属・ニュータイプ研究所

階級・不明

オーガスタのニュータイプ研究所の研究員。ロザミア・バダムやゲーツ・キャバラのコントロールを行った。

ロ イ

登場作品/機動戦士ガンダムZZ

登場話数・41話 所属・民間人

ルチャーナの父親でサイド3の民間人。ハマーンに反感を持ち、鉤山惑星キケロで反対派地下組織を作って抵抗した。

ろ

れび

ロザミア・バダム

登場話数/機動戦士Zガンダム

登場話数・14話～48話

所属・地球連邦軍

(ニュータイプ研究所)

階級・少尉

オーガスタ研究所で人工的に作られた強化人間。17歳の少女。カミーユに接触してアーガンに同乗。戦闘を見て使命に覚醒、Zを攻撃する。ティターンズに戻ると精神安定のための思考操作を受け記憶を失う。カミーユの努力も空しく、精神の混乱を来して彼に倒された。



ロアン

登場作品/機動戦士ガンダム
登場話数・15話 所属・民間人

ドアンの島の少女。連邦軍の兵士を救助に来てザクに襲われたアムロを介抱し、自然の素晴らしさを教えた。

ロベルト

登場作品/機動戦士Zガンダム
登場話数・1話〜13話
所属・エウゴ
階級・中尉

旧ジオン以来のシャアの部下。MS操作の技術は抜群。リックディアスを操縦。ブランのアッシマーの攻撃で戦死。

わ

ワッケイン

登場作品/機動戦士ガンダム
登場話数・4話

所属・地球連邦軍
階級・少佐

連邦軍少佐。ルナツーの司令官で、機密漏洩罪でホワイトベースのクルーを拘留してしまった。

ロンメル

登場作品/機動戦士ガンダムZZ
登場話数・24話

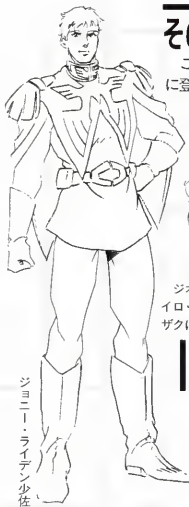
所属・旧ジオン軍
階級・不明

旧ジオン軍中佐。8年間ザビ家の再興だけを夢見て雌伏していたが、ガンダムチームに敗れて爆死した。

その他のガンダムキャラクターたち

ここではTVシリーズや劇場作品以外のガンダム作品に登場したキャラクターの一部を取り上げてみました。

M S V 編



ジョニー・ライデン 少佐



ジオン突撃機動軍のエースパイロット。シャアと同じく赤いザクに搭乗していた。



ヤシマ家と並ぶ名家マツナガ家の嫡子。白いザクに搭乗し、ドズル・ザビの寵愛を受けた。



イラスト／うみのさとる

シン・マツナガ 中尉

※掲載作品 MSV、ダブルフェイク（MJ掲載）、MSジェネレーション（MJ掲載）

ダブルフェイク編

アルヴェニシカ・キース／テロリスト・グループ「カラード」の女パイロット。愛機ズサを駆り、ダリーを付け狙う。



グリー・ニエル・ガンズ／モノトーン・マウス社の作業員。ジャンクパーツからオリジナル・ガンダムを作り上げた。



その他



チェリィ・チノ・ローゼス/モノトーン社の作業員でダリーのチームメイト。操舵手でダリーのGF兼ケンカ友達でもある。テロリストに両親を殺害された。



オット・フィールド/地球連邦軍所属サラミス「アラハス」の艦長。ジェガンのテストのために訪れたテキサスで、ダリーたちと出会う。



ミカヨ、イベラ・ツギム/アラハスのブリッジオペレーター。双子の姉妹で仲が良く、いつもキャピキャピしている。



シン、タウ・ワタナベ/イリア・バナムがつれてきたジオンの双子のニュータイプ。



スティア/アラハスのブリッジ要員。アラハスの乗組員のなかではかなりまともなキャラクター。ミカヨ、イベラのお姉さんの存在。



ディーマッド/テログループ「カラード」のパイロット。放射線をまきちらして航行するアブナイMS、ガザウィラに乗る。



アイン・クレイフィールド/ダリー、チェリィのチームメイト。つっぱしるダリー、チェリィのおかげでいつもとぼっちりをうけ苦労している。

エルレスコ・バイエ/テログループ「カラード」のリーダー。資本主義体制の中で、権力をかたに弱者をしいたげる悪を撃つために、さらに悪になろうという思想の持主。



ドーシー/アラハスのパイロット兼看護兵。こういうキャラクターにはめずらしく放言を使う。パイロットのアンティークとは恋仲らしい。



MSジェネレーション編

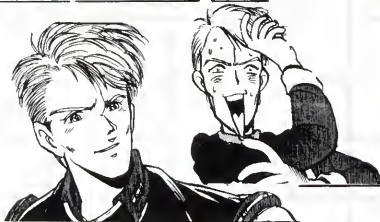
ジェームス・A・アーノルド

登場話数・3話～

所属・地球連邦軍

階級・中尉

連邦軍のエースパイロットの一人として、GTF-FOURのテストパイロットに選出される。だが、実験中にGTF-FOURを海中に水没させ左遷。その後招集により再びプロジェクトに参加、GTF-FOURに乗り込んだ。



チャールズ・S・サインツ

登場話数・3話～

所属・地球連邦軍

階級・中尉

ジムとともにプロジェクトに参加、GTF-FOURのガンナーを務める。失敗して指令に怒鳴られることにもびくびくしている。

アリーナ・W・ミサキ

登場話数・11話～

所属・地球連邦軍

階級・少尉

バンネンバー博士のもと、GTF-FOURのテストを続けていた女性パイロット。負けん気が強いの。



アリーナ・W・ミサキ
少尉です
よろしく

残念
でしたーっ!!



トーマス P・イムス

登場話数・1話～
所属・TRD通信社

TRD社の戦場カメラマン。もともとは報道部のカメラマンだったが、特ダネを写してしまったために戦場へおもむくはめになった。数々の戦場渡り歩くうちにジムたちと出会う。彼の撮る写真にはハッピーなものはないため「不幸のカメラマン」と呼ばれている。



スティーブ・C・オスターバック

登場話数・6話～
所属・地球連邦軍
階級・一等兵
連邦軍所属の輸送機部隊の機長。チャーリーとは幼なじみ。気が荒く猪突猛進タイプで上司を殴って現在降格中。

バンネンバー・U・ハヤミ

登場話数・11話～
所属・地球連邦軍
階級・大尉
G T - F O U R計画の指導をとっている連邦軍の博士。

エグリー・R・スズキ

登場話数・12話～
所属・ジオン軍
階級・大佐
ジオンの新兵器「ザクスビード」のパイロット。ザクスビードの性能を見せつけるためにG T - F O U Rに挑む。



その他

ガンダムと
闘わせて下さい!

ルー・ルカ	4,118
ルチーナ	120
レコア・ロンド	2,11,121
レズン・シュナイダー	8,22,123
レツ・コバヤシ	8,13
レビル	125
ロイ	125
ローレン・ナカモト	125
ロザミア・ハダム	2,31,126
ロベルト	8,127
ロラン	127
ロンメル	127
わ行	
ワッケイン	127



フランクリン・ビダン	76
プラン・ブルターク	76
ブルソー	77
ブレックス・フォーラー	2,13,32,78
ベルガミノ	79
ペルシア&コーリー	79
ベルトーチカ・イルマ	2,80
ベン・ウッダー	82
ヘンケン・ベッケナー	2,82
ボラスキニフ	83
ホルスト・ハーネス	41

ま行

マーカー・クラン	84
マウアー・ファラオ	2,84
マ・クベ	86
マサイ・ンガバ	87
マサキ	87
マシュマー・セロ	4,17,88
マルチダ・アジャン	90
マハラジャ・カーン	36
マリガン	91
ミーシャ	91
ミカヨ・ツムギ	
ミネバ・ザビ	2,92
ミハル・ラトキエ	93
ミライ・ヤシマ	94
ミライ・ヤシマ	6,12,96
ミリィ・チルダ	8,98
ムサカ艦長	98
メッチャー・ムチャ	99
メズーン・メックス	14,99
メラニー・ヒュー・カーバイン	8,14,33,100
モスク・ハン	101
モンド・アガケ	4,17,101

や行

ヤザン・ゲープル	8,103
----------	-------

ら行

ラー・カイラムのブリッジ要員	23
ライラ・ミラ・ライラ	2,15,105
ライル	23,107
ラカン・ダカラン	107
ラサラ・ムーン	8,108
ラムサス・ハサ	108
ララァ・スン	27,109
ランス・ギーレン	8,111
ランバ・ラル	111
リード	113
リィナ・アーシタ	4,16,113
リュウ・ホセイ	117

ジェームス・A・アーノルド	130
ジェリド・メサ	2,14
ジオン・ズム・ダイクン	26,32
シャア・アズナブル	6,18,27
ジャミトフ・ハイマン	2,15,34
シャリア・ブル	27
ジュドー・アーシタ	4,16
ジョニー・ライデン	128
シンタ	2
シン・マツナガ	128
シン・ワタナベ	129
スティーブ・C・オスターバック	130

た行

タウ・ワタナベ	129
ダリー・ニエル・ガンズ	128
チェーミン・ノア	6
チェリィ・チノ・ローゼス	129
チェーン・アギ	6,19
チャールズ・S・サインツ	130
ディーマッド	129
デギン・ソド・ザビ	36
ドーシィ	129
ドズル・ザビ	37
トーマス・P・イムス	131
トーレス	2

な行

ナナイ・ミゲル	6,23
ニー・ギーレン	8

は行

バーテンの親父	46
バーナード・ワイズマン	46
パオス・カシアス	49
ハサウエイ・ノア	6,21,49
ハサン	51
バスク・オム	2,15,34,51
パプテマス・シロッコ	2,16,35,52
ハマーン・カーン	4,16,36,53
ハヤト・コバヤシ	2,12,57
バンマス	59
ヒルダ・ビガン	59
ビーチャ・オレーグ	4,17,60

ふ行

ファ・ユイリィ	2,11,62
フォウ・ムラサメ	2,31,64
ブライト・ノア	6,13,21,38,67
フラウ・ボウ	71
フラウ・コバヤシ	13,73
フラナガン博士	28,75
フラナガン・ブーン	75

索引

機動戦士ガンダム キャラクター大図鑑 Ⅱ巻 INDEX

この索引は、「機動戦士ガンダムキャラクター大図鑑 Ⅱ巻」に掲載したキャラクターを50音順にまとめました。記されているページを御覧下さい。キャラクターの解説、または関連する事柄がわかるようになっています。

あ行

アストナージ・メドッソ	6,11
アデナウアー・パラヤ	8
アムロ・レイ	2,6,12,19,27
アブ・ダビア	14
アポリー	8
アリーナ・W・ミサキ	130
アルヴェニシカ・キースト	129
イーノ・アッパーブ	4,17
イペラ・ツムギ	129
イリア・バゾム	4
ウォン・リー	8,33
エグリー・R・スズキ	131
エマ・シーン	2,11
エマリー・オンス	4
エル・ピアンノ	4,17
エルビー・ブル	4
エルレスコ・バイエ	129
オット・フィールド	129

か行

カイ・シデン	8
カクリコン・カクーラー	8,15
カツ・コバヤシ	2,13
カミーユ・ビダン	2,11,31
キッカ・コバヤシ	8,13
キャラ・スーン	4
ギュネイ・ガス	6,22
クェス・パラヤ	6,21
クム	2
グレミー・トト	4
クワトロ・バジーナ	2,10
ゲーツ・キャバ	8
ケーラ・スウ	6,20
ゲモン・バジャック	8
ゴットン・ゴー	8

さ行

サラサ・ムーン	8
サラ・ザビアロフ	2

STAFF

企画

株式会社メディアワークス
第4編集部・書籍編集課（安藤利明）

構成・編集

仲室倉
井上 徹
渡辺利浩
磯辺健一
飯島由美
松本富之

装丁

タケモトアツシ（t-DESIGN LAB.）

デザイン

仲室倉
シバミツヲ
ケンジ

協力

株式会社サンライズ

※本書は1991年4月に株式会社バンダイ・出版課より発行されたエンターテインメントバイブル・シリーズ「機動戦士ガンダム キャラクター大図鑑Ⅱ巻」を複製した物です。文章・データに2005年現在と合致しない部分がございますが、原書のままですのでご容赦下さい。

※ご協力いただいた方々の所属は発行当時のまま記載しております。

宇宙世紀ボックス 機動戦士ガンダム キャラクター大図鑑 Ⅱ巻 PART.13

CONTENTS

キャラクター名鑑 Sort Out Character	2
キャラクター大鑑 Character Catalogue	10
機動戦士Zガンダム	10
機動戦士ZZガンダム	16
機動戦士ガンダム 逆襲のシャア	18
ガンダム・オフィシャル・レポート GUNDAM Official Report	25
ニュータイプ	26
強化人間	30
エウゴ	32
ティターンズ	34
ネオ・ジオン①	36
ロンド・ベル	38
ネオ・ジオン②	40
キャラクター設定資料集 Character Design Collection	45
は行	46
ま行	84
や行	103
ら行	105
わ行	127
その他のガンダム・キャラクター	128
索引 Index	132

発行 2005年3月20日 初版発行

発行者 佐藤辰男

発行所 株式会社メディアワークス
〒101-8305 東京都千代田区神田駿河台1-8東京YWCA会館
TEL03-5281-5243(編集)

発売元 株式会社角川書店
〒102-8177 東京都千代田区富士見2-13-3
TEL03-3238-8605(営業)

印刷所 共同印刷株式会社

落丁・乱丁本はお取り替えます。

©創通エージェンシー・サンライズ

分売不可

Printed in Japan

〔B〕本書の全部または一部を無断で複製(コピー)することは、著作権法上の例外を除き、禁じられています。本書からの複写を希望される場合は、日本複写権センター(03-3401-2382)にご連絡下さい。

CHARACTER ENCYCLOPEDIA NO.13

キャラクター大図鑑 Ⅱ巻
[PART.13]



CHARACTER PROFILE 02

CHARACTER ENCYCLOPEDIA NO.13

キャラクター大図鑑 Ⅱ巻
[PART.13]



CHARACTER PROFILE 02

MS NO.13 ENCYCLOPEDIA

.....

CHARACTER PROFILE 01

MS NO.13 ENCYCLOPEDIA

.....

CHARACTER PROFILE 01

キャラクター大図鑑

キャラクター大図鑑 Ⅱ巻
PART.13

No.13

OVERLORD

キャラクター大図鑑 Ⅱ 卷
PART 13